

平成30年度 中学校教科用図書調査研究報告書

道徳 ----- 1頁～2頁

丹後教科用図書採択地区協議会

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	特別の教科 道徳	種類	8種
--------	----------	----	----

(2) 枚中(1) 枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 2 東書	発行者名(番号・略称) 11 学図	発行者名(番号・略称) 17 教出	発行者名(番号・略称) 38 光村
		721・821・921	722・822・922	723・823・923	724・824・924
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	30教材と補助の5教材で35時間を考えた構成である。 巻末に切り取り式資料として、「自分の学びを振り返ろう」を3枚収録し学期ごとの4段階4項目の自己評価や学んだことを記録し振り返りができるように工夫している。 裏表紙に道徳科で目指すことを示し、保護者にも理解を深めてもらえるように配慮している。 全国の人物や伝統・文化、技術や産業を紹介し、郷土愛につながるように工夫している。	35教材で35時間を考えた構成である。 学期ごとの「学びの記録」及び、巻末には「1年間の振り返り」を収録し、学んだことや自分の考えたことなどを記録して振り返りができるように工夫している。 道徳科で目指すことと学習内容を一覧表で巻末に示し、保護者にも理解を深めてもらえるように配慮している。	30教材と補充の5教材の35時間を考えた構成である。 巻末に、一年間の道徳の学びを記録する頁や、「心のかがやき度」を教材別に3段階で評価する表を収録して振り返りができるように工夫されている。 一年間の道徳の学びを記録する頁の中に保護者・教師からのコメントを記載する欄が設けてある。 全国の人物とその言葉を紹介し、郷土愛につながるように工夫している。	34教材と補充の2教材で35時間を考えた構成である。 巻末に「学びの記録」として、1年間を 4 シーズンに分けて設定した「学びのテーマ」ごとに、学びを振り返ることができるように工夫している。 全国の自然や人物、話題を紹介し、郷土愛につながるように工夫している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫	教材ごとに、「考えてみよう」の欄があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる2つの発問を設定している。 「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」の2つ重点テーマを設定し、各学年にそれぞれ3教材を掲載し焦点化を図っている。	教材ごとに、「学びに向かうために」の欄があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる3つの発問を設定している。 「生命の尊さ」、「よりよく生きる喜び」など10項目については各学年で複数教材を掲載して重点化を図っている。	教材ごとに、「学びの道しるべ」の欄があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる3つの発問を設定している。 「生命の尊さを考える」、「いじめや差別のない社会に」、「情報とよりよく付き合う」の3つ重点テーマを設定し焦点化を図っている。	教材ごとに、「学びのテーマ」の頁があり、教材内容について考えさせる3つの発問を設定している。またその中の“つなげよう”というテーマでは他の教材との関連や自己を振り返らせる発問を複数設定している。 全学年を通して、特に「生命を大切にする心」の育成に重点をおき各学年に3教材を掲載し、様々な観点から「命」について学びを深めることができるよう工夫している。
	(2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫	複数の新聞投稿された記事や感想意見文を教材にして、1 年では「環境」、2 年では「仕事」、3 年では「いのち」をテーマとして、それぞれのテーマで多面的・多角的に考えられる工夫をしている。	多くの教材末に「心の扉」があり、教材の内容を多面的・多角的に考えを深めたり、自己を振り返ったりできるよう工夫をしている。	教材の終末に「学びの道しるべ」を設け、自分の生き方に引き付けて考えられるように発問を工夫している。	教材ごとに、「学びのテーマ」の頁に「見方を変えて」や「つなげよう」という項目で、多面的・多角的な見方や考え方の方向性を示し、自己を振り返ったり自分の考えを深めたりする発問を設定している。 コラムを複数設定し、教材で深めたことについて、コラムを通して一層多面的・多角的に考えられるよう工夫している。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	巻頭に「話し合いの手引き」があり、主体的・対話的に学習するためのヒントを示している。 教材ごとに「つぶやき」欄があり、生徒の思いや考えを教科書に書き込むことができたり、巻末に切り取り式資料として、「心情円シート」「ホワイトボード用紙」を収録したり、主体的・対話的に取り組めるよう工夫している。 「Action」の頁を設けており、役割演技を取り入れることにより、主体的・対話的に学習に向かえるように配慮されている。	巻頭に「道徳の学習をはじめよう！」の欄を設け、「考え、議論するために」という項目で、主体的な学習や考えを深めるための意見交流などについて示している。 教材末に「意見交換」という項目を設けており、具体的にグループの中で、各自の考えを交流したり発表したりできる配慮がされている。	巻頭に「道徳って、どんなふうに学習したらいいの？」の頁を設け、友達との意見を出し合うことやいろいろな視点で考えることの意義を示している。 「やってみよう」の頁を設けており、役割演技を取り入れることにより、主体的・対話的に学習に向かえるように配慮されている。	冒頭に「“対話”で広がる道徳の時間」、巻末に「どうして“道徳”を学ぶんだろう？」のページを配置し授業開きやふり返りに活用できるように工夫している。 教材の終末に、「私の気づき」も設け、感じたことや考えたことを書きとめ、学んだことを振り返ることができるよう工夫している。
	(4) 情報モラルと現代的な課題の取扱い	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。
	(5) 他の教科等との関連	9教科及び特別活動との関連を図っている。 巻末に6テーマに関する教材を分類して、各教科などとの関連が図れるように配慮している。また、各教材のはじめの頁右下にマークで示し、関連する教科を確認してから学習に入れるよう配慮している。	国語・数学・英語以外の教科及び特別活動との関連を図っている。 「さあ、楽しい夏休み」という頁を設けて、家庭や地域で規則正しく安全な生活が過ごせるように内容項目とつなげながら自分を振り返ったり目標立てをしたりすることができるよう配慮されている。	国語・数学・英語・美術以外の教科及び特別活動・総合的な学習との関連を図っている。	数学・英語・技術以外の教科及び特別活動との関連を図っている。 巻末に7テーマに教材を分類して、各教科などとの関連が図れるように配慮している。また、関連一覧表も巻末に用意されている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別マークを明示している。また、あえて内容項目を記載しないことで、特定の価値観を押し付けないように工夫している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別マークと各内容項目も明示している。加えて、深く考えるポイントも明示している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。また、AB 版を採用したことにより全教材を大きな文字で記載して読みやすいように工夫している。	各教材の冒頭に4つの視点を色別番号で区別している。また、導入の問いかけが記されている。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。また、1年生教材の最初の10教材は、大きな文字で記載して読みやすいように工夫している。	各教材の冒頭に4つの視点と4つのシーズンを色とマークで区別し、各内容項目も明示している。また、学びのテーマに応じた10の「ユニット」を設定し内容項目の関連を意識できるように工夫されている。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	特別の教科 道徳	種類	8種
--------	----------	----	----

(2) 枚中(2) 枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 116 日文 725・726・825・826・925・926	発行者名(番号・略称) 224 学研 727・827・927	発行者名(番号・略称) 232 廣あかつき 728・729・828・829・928・929	発行者名(番号・略称) 233 日科 730・830・930
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	35教材で35時間を考えた構成である。 別冊では教材ごとに4観点について5段階評価による自分への振り返りができるように工夫している。 別冊の裏表紙及び本冊の巻末に、道徳科で目指すことを示し、保護者にも理解を深めてもらえるように配慮している。また、別冊には学期ごとに保護者からのコメントを記載する欄が設けている。	35教材で35時間を考えた構成である。 巻末に「心の四季」と題する頁を設けて、1年たつての心の成長を振り返ることができるよう工夫している。	35教材で35時間を考えた構成である。 別冊巻末に「心のしおり」を設け、学期ごとに22の価値項目について 5 段階評価をすることで自分自身の学びを振り返ることができるよう工夫している。また、教材ごとに 5 段階での自己評価もできるよう工夫している。	37教材で35時間を考えた構成である。 巻末に 1 年間の心の成長レベルを22の価値項目について4段階評価ができるよう工夫している。また、学びの振り返りを7観点について4段階でできるよう工夫されている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫	教材ごとに、「考えてみよう」と「自分にプラス1」の欄があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる発問をそれぞれ設定している。 「いじめと向き合う」といういじめ防止ユニットを構成し、「いじめ」を直接的・間接的に扱った教材を集中的に学習できるように工夫されている。	教材ごとに、教材内容について考えさせる発問を1つ2つ設定している。また、各学年の4教材については、“深めよう”の頁があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる発問をそれぞれ設定している。 最重点テーマは「いのちの教育」とし、全学年で 3 教材掲載し、「クローズアップ」の頁でも命の大切さを考えられるように工夫している。	教材ごとに、「考える・話し合う」の欄があり、教材内容について考えさせる複数の発問とそれをもとに自己を振り返らせたり、考えを深めさせたりする発問を1つずつ設定している。 教材ごとに学習する内容項目にそつた先人や現代に活躍する人々の言葉を記して価値理解を深めることができるよう工夫している。 最重点テーマは「生命の尊さ」とし全学年で3教材掲載、その他に「自主・自立・自由と責任」、「思いやり・感謝」、「よりよく生きる喜び」の3項目も重点化図っている。	教材ごとに、「考え、話し合ってみよう そして深めよう」の欄があり、教材内容について考えさせる発問とそれをもとに自己を振り返らせる複数の発問を設定している。 「友情・信頼」の項目に重点を置き、各学年にそれぞれ3教材を掲載し焦点化を図っている。
	(2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫	教材のところどころに「プラットフォーム」や「参考」の頁を配置し、考えや視野を広げられるように工夫をしている。 別冊「道徳ノート」では、友達の考えを書く欄を設け、自分と比べて考えを深められるよう工夫している。	いくつかの教材末に「クローズアップ」の頁を設け、教材に関連した内容の資料を示し、多面的・多角的に考え理解を深められるように工夫している。	教材末に「考える・話し合う」の欄に中で「考えを広げる・深める」を項目を設定し、広い視野から多面的・多角的に考えられるように工夫している。 別冊「道徳ノート」には、教材と関連させた発問と記述欄を設け、自分と関わらせて考えを深められるよう工夫している。	いくつかの「書いてみよう」、「考えてみよう」の頁を設け、教材の内容についてより広い視点で自分を振り返りながら学習を深めることができるよう工夫している。 「もっと知りたい」、「込められた想い」の頁を配置し、考えを深めさせるよう配慮をしている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	巻頭に「道徳科で学ぶこと」、「道徳科での学び方」があり、主体的・対話的に学習するためのヒントを示している。 「学習の進め方」という頁を教材の合間にいくつか設け、話し合ったり、動作や演技を通して考えたりできるように工夫されている。 「別冊ノート」の中には他者の考えをまとめる欄が設けてあり、「議論する道徳」の実現への配慮もなされている。	巻頭に「新しい扉をひらく」の頁があり、「考えを深める四つのポイント」や「道徳で学ぶこと・考えること」の項目で、話し合い、考えを磨き合うことについてふれている。 教材末の「深めよう」の頁の中に「話し合おう」や「やってみよう」の項目を設け、主体的・対話的に学習が深まるように工夫している。	巻頭に「道徳の時間とは」の頁があり、自分自身に問いかけながら、また、ともに考え合うことにより、生き方への考え方を深めていくことについて示している。	巻頭に「道徳って何を学ぶの？」の頁があり、自分の考えを持ち、多様な考えを知ることにより、主体的・対話的に学びを深めるポイントについて示している。 教材末に「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」の欄があり、主体的・対話的に学習に取り組めるように工夫している。
	(4) 情報モラルと現代的な課題の取扱い	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。	「情報モラル」、「いじめ問題への対応」、「国際理解」、「環境教育」、「キャリア教育」について、幅広く取り扱っている。
	(5) 他の教科等との関連	9教科及び特別活動・総合的な学習との関連を図っている。 冒頭で11テーマに分類して、各教科などとの関連が図れるように配慮している。また、関連一覧表も巻末に用意されている。	数学以外の教科及び特別活動との関連を図っている。 冒頭で6テーマに分類して、各教科などとの関連が図れるように配慮している。また、関連一覧表も巻末に用意されている。	国語・数学・英語・美術以外の教科及び特別活動との関連を図っている。	英語以外の教科及び特別活動との関連を図っている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別マークと各教材テーマも明示している。加えて、はじめに登場人物の写真やイラストを示し、資料を読み取りやすくし、議論の時間が確保できるよう工夫している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。また、11の学びのテーマを設定し内容項目の関連を意識できるように工夫されている。	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別ラインを挿入している。また、あえて内容項目を記載しないことで、特定の価値観を押し付けないように工夫している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別の枠を挿入している。また、あえて内容項目を記載しないことで、特定の価値観を押し付けないように工夫している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。また、1年生教材については、大きな文字で記載して読みやすいように工夫している。	各教材の冒頭に4つの視点を区別する色別の枠を挿入している。また、あえて内容項目を記載しないことで、特定の価値観を押し付けないように工夫している。 特別支援教育の観点から改行・ルビ・配色・デザイン等を工夫している。 地域・学校の特色に合わせて活かせるように、学習指導要領の内容項目順に教材を配置している。

平成 3 0 年度 小学校教科用図書調査研究報告書

国語	-----	1 頁～ 2 頁
書写	-----	3 頁～ 4 頁
社会	-----	5 頁
地図	-----	6 頁
算数	-----	7 頁～ 8 頁
理科	-----	9 頁
生活	-----	10頁～12頁
音楽	-----	13頁
図画工作	-----	14頁
家庭	-----	15頁
保健体育	-----	16頁

丹後教科用図書採択地区協議会

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	国語	種類	5種
--------	----	----	----

(2)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(2 東書)	発行者名(11 学図)	発行者名(15 三省堂)	発行者名(17 教出)
		国語 131・132・231・232・331・332・431・432・531・631	国語 133・134・233・234・333・334・433・434・533・534・633・634	国語 135・136・235・236・335・336・435・436・535・536・635・636	国語 137・138・237・238・337・338・437・438・537・538・637・638
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	本編と付録「言葉の世界」によって構成され、本編において全ての指導事項を扱っている。 昔話、俳句、百人一首、古文、漢文、伝統芸能等が取り上げられ伝統的文化の内容充実している。 各学年、「本は友達」で著名人のメッセージと図書の紹介をしている。	本編と資料編によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 古典教材の現代文とのつながりを意識し、昔話、俳句、百人一首、古文、文語詩、漢詩等が取り上げられ、伝統芸能の中から狂言を紹介している。 各学年、「読書をひろげよう」で読書を勧め、「本と友達読書の部屋」で図書の紹介をしている。	本冊(本編と付録)と別冊によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 昔話、俳句、百人一首、古文、文語詩、漢詩等が取り上げられ、伝統芸能の中から落語・狂言を紹介している。 各学年、作家による図書の紹介ページがある。動物を扱った教材が多い。	本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 昔話、俳句、故事成語、漢文、古文が取り上げられ、伝統芸能の中から狂言を紹介している。 各学年、付録の「〇年生で読みたい本」で図書の紹介や「ここが大事」などを掲載している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	「つながる」や巻末の付録「言葉の力のまとめ」で学習内容をまとめ、前学年と該当学年の振り返りができるようにしている。既習事項を「つながる」と表示し、想起させる工夫がされている。 ことばの特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を、螺旋的・反復的に配列している。 全学年「国語のノートの作り方」として、例を示している。	「国語のカギ 読む」巻末の資料編「国語のカギ 話す・聞く・書く」で学習内容をまとめ、振り返りができるようにしている。 発達段階に応じて、巻末「保護者の方へ」を提示している。 ことばの特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を、螺旋的・反復的に配列している。	巻末「覚えておきましょう」のまとめで学習内容をまとめ、振り返りができるようにしている。 「新しい漢字を学ぼう」を、合わせて20ページ掲載し、漢字学習を進める配列となっている。 ことばの特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を、螺旋的・反復的に配列している。	巻末の付録「この本で学ぶこと」で学習内容をまとめ、振り返りができるようにしている。 「この本で学ぶこと」「学ぶ言葉」「学んだ言葉」に学習したページを表記したり、振り返りができるようにしている。 ことばの特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を、螺旋的・反復的に配列している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	「話すこと・聞くこと」領域では、話す、聞く力が総合的に身に付くように、多様な表現を経験できるように工夫している。 「読むこと」領域では、言語活動が多様で、読む視点が明確に示されている。 考えを広げたり文章構成をしたりする際のメモやカード例を具体的に示している。	「話すこと・聞くこと」領域では、自らの体験などから考えて表現できるよう工夫している。また、「書くこと」とつなげて取り扱っている。 漢字や言葉のきまりは見開き1ページに収まるように配列している。 「読むこと」領域では、読んで付いた力を書いたり話したりする言語活動と関連付けて取り扱っている。年間の学習の見通しを見開きページで提示 している。	「話すこと・聞くこと」領域では、2学年のまとまりで螺旋的・反復的に学ぶことができるようにしており、。学習過程で配慮すべきことを具体的に示している。 「読むこと」領域では、音読や朗読など音声表現での言語活動や詩を読むことを取り上げている。	「話すこと・聞くこと」領域では、話す、聞く力が総合的に身に付くように、多様な表現を経験できるようにしている。 「書くこと」領域では、2学年のつながりを考慮して、書く力が総合的に身に付くように工夫している。国語辞典の使い方の扱い 4ページ
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	学習過程や手順、学び方を示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 年間の学習の見通しが見開きで提示・記載され、主体的な学習を促す付録・資料を巻末に掲載している。 「言葉の力」として話す・聞く・書く・読む領域での学習事項をまとめ、全学年との系統性を明らかにしている。 また、学習用語を整理している。	学習過程や本の使い方を明示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 主体的な学習を促す付録・資料を巻末等に掲載している。 『国語のカギ』として、「話す・聞く・書く」領域での学習事項をまとめている。 また、学習用語を整理している。年間の学習の見通しが見開きで提示されている。	学習過程や手順、学び方を明示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 2年生以上では、「学びを広げる」(分冊)により主体的な学習を促す工夫をしている。 別冊「学びを広げる」に、学習用語や学習事項を整理している。新出漢字や既習漢字の扱いもよいである。ローマ字表に、説明が加えられパソコン学習に活用できる。	学習過程や本の使い方を明示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 書くことの指導過程がよいに提示され、主体的な学習を促す付録・資料を巻末等に掲載している。 『ここが大事』として、「話す・聞く・書く・読む・言葉・文化」として学習事項をまとめている。 また、学習用語を整理している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料が巻末に掲載している。 また、単元末にある「広がるのコーナー」で日常生活や総合的な学習に活かせる学習方法を示している。 付録「言葉の世界」からのページに茶色の塗りがしてあり、まとめ学習等の手引きとして使用しやすい。	学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 また、単元末の「広げよう」のコーナーでは学習を例示し自主学習につなげるように配慮している。 短歌は創作の段階を示し、年間の学習の流れにより、見通しがもてるようにしている。 中学校で学習する漢字の読み方を掲載し、学びを広げる工夫をしている。短歌創作の段階を示し明確化 年間の学習の流れを設定することにより、見通しが持ちやすい。	学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料が別冊に付録として掲載している。 また、読み物資料では読み方の手引きを示し、自主学習につなげるように配慮している。 5年生では震災に関する資料を掲載している。 学年配当外の漢字を「学びを広げる」におさめ、学びを広げる工夫をしている。 5年「お茶の教材」は家庭科学習との関連性がある。	学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 6年生では、震災に関する図書の紹介をしている。 小学校で学ぶ漢字一覧表で、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 書くことの指導過程や新聞の要素についてよいに掲載されている。
	(5) 他の教科等との関連	他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と関連するよう文学・説明・読書教材等を選定し、工夫している。 3年生以上の下巻の付録で「言葉の力を活用しよう」を設け、他の教科や総合的な学習時間との関連を取り上げている。 各学年で「図書館へ行こう」を設け、図書館の利用の仕方を学年ごとに系統立て学習できるようにしている。 巻末の付録で情報収集や活用の仕方について触れ、別冊に学習用語や学習事項をまとめている。	他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と関連するよう文学・説明・読書教材等を選定し、工夫している。 1～4年生で図書館の利用の仕方を学年の系統性に合わせて学習できるようにしている。2年生以上の上巻末資料収集の仕方を掲載している。 2年生以上の上巻の冒頭で、「学級づくり」言語活動につながる内容の工夫がある。	他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように文学・説明・読書教材等を選定し、工夫している。 別冊「学びを広げる」で他の教科や総合的な学習の時間など様々な場面で役立つ言葉についての資料を取り上げている。 各学年で「図書館へ行こう」を設け、図書館の利用の仕方を学年ごとに系統的に学習できるように配慮し情報収集の仕方や活用の仕方についても取り上げている。	他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように文学・説明・読書教材等を選定し、工夫している。 各学年、巻末の付録に他の教科や総合的な学習の時間に関連するような本が紹介されている。 1～4年生で「図書館へ行こう」を設け、図書館の利用の仕方を学年ごとに系統的に学習できるように配慮し、情報収集の仕方や活用の仕方について取り上げている。4年下百人一首は代表作のみ ふろくのページに言葉の木があり、言葉の広がりに見える。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	本文、挿絵、写真、図表などを適切に配置し、児童が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫している。 教材の挿絵が絵本と同じで原作の世界を重視している。 ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。教材の挿絵が絵本と同じである。	本文、挿絵、写真、図表などを適切に配置し、児童が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫している。 ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。保護者の方へのページが最終ページにある。	本文、挿絵、写真、図表などを適切に配置し、児童が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫している。 ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。	本文、挿絵、写真、図表などを適切に配置し、児童が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫している。 学習後のまとめがよいに配置されている。ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。 どのページも白で統一されていて落ち着きやすい。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	国語	種類	5種
--------	----	----	----

(2) 枚中(2) 枚

採択基準	基本観点	発行者名(38 光村)	発行者名(番号・略称)	発行者名(番号・略称)	発行者名(番号・略称)
		国語 139・140・239・240・339・340・439・440・539・639	教科書の記号・番号	教科書の記号・番号	教科書の記号・番号
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 昔話、俳句、短歌、古文漢文等が取り上げられ、伝統芸能の中から狂言を紹介している。 各学年、「本は友達」で読書を勧め、読み物教材の後には関連図書の紹介をしている。 説明的文章の構成を明示したり、「言葉の力」のページの設定、表現方法の指定によって多様性の定着を図ろうとしたりしている。			
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	巻末「たいせつ」のまとめで学習内容をまとめ、振り返りができるようにしている。 巻末の付録「たいせつ」等に学習したページを表記し、振り返りができるようにしている。 ことばの特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を、螺旋的・反復的に配列している。 「読む力」を付けるために、小教材で学び方を学習し、本教材で定着を図るよう配列してある。			
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域では、論理的に施行できるように教材を組み入れている。 全学年ともに、論理的に思考・判断・表現できるよう教材が配列しており、「読むこと」「話すこと」「書くこと」の一体化が図られている。 思考を深めるための具体的な方法を、図や吹き出しを効果的に取り入れ示している。			
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	学習過程や手順、学び方を明示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮している。 主体的な学習を促す付録・資料を巻末に掲載している。 学習終了後の「本を読もう」での作品を紹介している。 『言葉の力』として、「話す・聞く・書く・読む」領域での学習事項をまとめている。 また、学習用語を整理している。			
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 また、読み物資料では、読み方の手引きを示し、自学自習につなげるように配慮している。 小学校で学ぶ漢字一覧表で、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 年間の学習のねらいの提示、既習の漢字を先に今から習う漢字を後に掲載、振り返りチェック項目等、工夫されている。			
	(5) 他の教科等との関連	他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように文学・説明・読書教材等を選定し、工夫している。 3年生以上で「たいせつ」の項目を設け他の教科や総合的な学習の時間、日常生活の中で役に立つことを取り上げている。 2年生以上の上奏の冒頭単元「言葉の準備運動」は、言語活動にゲーム的要素を取り入れ友達作り、クラス作りにもつながる内容である。4年下に百人一首がすべて載せてある。			
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	本文、挿絵、写真、図表などを大きさや色合いも考え、適切に配置し、児童が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫している。 ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。各ページが開けやすいように色分けをしている。			

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	書写	種類	6種
--------	----	----	----

(2) 枚中 (1) 枚

採択基準	基本観点	発行者名(2 東書)	発行者名(11 学図)	発行者名(15 三省堂)	発行者名(17 教出)
		書写 131・231・331・431・531・631	書写 132・232・332・432・532・632	書写 133・233・333・433・533・633	書写 134・234・334・434・534・634
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統と文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことを意識した書写の能力を育成するための教材を選定・配置している。 毛筆学習後の硬筆で練習のページ設定をし、硬筆と毛筆との関連を図っている。 各学年に、日常生活や他の教科等に活用する書写、既習事項の復習欄を掲載している。 教科書のサイズを少し大きくし、既習事項を見返せるようにしている。	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統と文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成を目的とした教材を配列している。 毛筆の学習をした後に、硬筆で書くページを設けるなど、硬筆と毛筆との関連を図っている。 記述が詳しく各学年に、日常生活や他の教科等に活用する書写を取り扱っている。 ワークシート・練習コーナーなどの併設。	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統と文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成するために、有効な教材を選定・配置している。 毛筆学習後の硬筆練習を設けるなど、硬筆と毛筆との関連を図っている。 各学年に「ひろげよう」を設け、日常生活や他の教科等に活用する書写を取り扱っている。 学習達成度チェック表を付けている。	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統・文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の力を育成する目的で、有効な教材を選定・配置している。 毛筆学習後の硬筆で練習ページを設けるなど、硬筆と毛筆との関連を意識している。 学校生活との関連を意識した記事を掲載したり、各学年に「トライあんどチャレンジ」を設け、日常生活や他の教科等に活用する書写を取り扱っている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載。第3学年以上に一年生から当該学年で学習することを巻末にまとめて掲載し常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価欄「学習をふりかえろう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載し、常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価欄「学習をふりかえろう」を設定し、学習事項の確認ができるようにしている。	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載し、常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価欄「学習をふりかえろう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。 なぞり書きのコーナーも掲載している。	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載、第3学年以上に「字形の整え方」を掲載し、常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価「ふり返ろう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。 全体的に学習内容を把握しやすい配置の工夫をしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	「調べよう」というマークで調べたり考えたりする場面を設けている。理解補助のための挿絵が多い。	失敗例を提示することで文字の形等について考える場面をもうけている。 各ページの余白に色分けした新出漢字を掲載している。	失敗例を提示することで文字の形等について考える場面を設けている。 自主学習を勧める内容も設定している。	失敗例を提示することで、文字の形などについて考える場面を設けている
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	学習した書写の活用場面として、「ノート」「書き初め」「年賀状やはがき」「原稿用紙や手紙」を取り入れている。 「筆記用具」について、種類を紹介している。達成シール付き。	学習した書写の活用場面として、「ノート」「書き初め」「はがき」「手紙」を取り入れている。 「筆記用具」について、用途・書き味の違いを紹介している。 学習のめあて、達成シールの付録、振り返りカードなどを掲載している。	学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「はがき」「ふうとうと便せん」「学級日記」「掲示物」を取り入れている。 書の文化を尊重し、「筆記具」について、用途・書き味の違いを紹介している。	学習した書写の活用場面として、「ノート」「書き初め」「はがき」「手紙」などを取り入れている。 「筆記用具」について、用途・書き味の違いを紹介している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	漢字の成り立ちや書写で使う道具の作り方、行書を紹介している。	漢字の成り立ちや書写で使う道具の作り方、行書を紹介している。	書写で使う道具の作り方、行書を紹介している。	書写で使う道具の作り方、行書を紹介している。
	(5) 他の教科等との関連	習得した書写の力を生かした課題として多くの学習場面を取り扱っている。 様々な活動場面に活用できるノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 童謡、いろはかるた。俳句、百人一首、竹取物語、論語などを書く活動を取り入れている。	習得した書写の力を生かした課題として多くの学習場面を取り扱っている。 様々な活動場面に活用できるノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 俳句、短歌、枕草子、文語詩など古典について紹介している。 数字、横書きなども掲載している。	習得した書写の力を生かした課題として、多くの学習場面を取り扱っている。 様々な活動場面に活用できるノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 「文字で伝える・文字で伝わる」では、いろいろな時代の文字を紹介している。	習得した書写の力を生かした課題として、多くの学習場面を取り扱っている。 様々な活動場面に活用できるノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 「文字の旅」では、いろいろな時代の文字を紹介している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながり等朱色の薄墨による図版等で掲載。 ページ幅を広げ、既習事項やめあてを入れている。キャラクターの活用。 漢字表、ひらがな表にも毛筆書体を活用。巻末に学習のまとめ、索引、書写体操などの工夫がされている。	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながりなど、朱色の薄墨による図版等で掲載。 ページ幅を広げ、既習事項やめあてを入れている。キャラクターを活用して情報提示している。 漢字表に毛筆書体・硬筆書体を併記。	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながり等朱色の薄墨による図版等で掲載。キャラクターの活用を抑えている。硬筆書体の漢字表を掲載。 巻末に学習のまとめ、索引などの工夫がされている。	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながり等朱色の薄墨による図版等で掲載。 写真の利用で道具の扱いや姿勢など具体例を掲載している。 キャラクターを活用して情報を提供している。 硬筆書体の漢字表を掲載。巻末に学習のまとめ、索引などの工夫がされている。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	書写	種類	6種
--------	----	----	----

(2)枚中(2)枚

採択基準	基本観点	発行者名(38 光村)	発行者名(116 日文)	発行者名(番号・略称)	発行者名(番号・略称)
		書写 135・235・335・435・535・635	書写 136・236・336・436・536・636	教科書の記号・番号	教科書の記号・番号
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統と文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成するために、有効な教材を選定・配置している。 毛筆の学習をした後に、硬筆で書くページを設けるなど、硬筆と毛筆との関連を図っている。 各学年に「資料」を設け日常生活や他の教科等に活用する書写を取り扱っている。	国語を適切に書き表すとともに毛筆の伝統と文化を尊重し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成するために教材を選定・配置している。 毛筆の学習をした後に、硬筆で書くページを設けるなど、硬筆と毛筆との関連を図っている。 各学年に「広がる学び」を設け、日常生活や他教科に活用する書写を取り扱っている。		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載、第3学年以上に「字形の整え方」を掲載。常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価欄「ふり返ろう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。	「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載。 第3学年以上に「字形が整う三つのポイント」を掲載し常に基本を大切にするように配慮している。 指導内容を系統的に取り上げ、確かな書写の力が身に付くようにしている。 目標に沿った自己評価欄「できたかな」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。		
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	失敗例を提示することで、文字の形などについて考える場面を設けている。 「書く姿勢や筆記用具の持ち方」を全学年に掲載し、常に基本を大切にするように配慮している。	失敗例を提示することで、文字の配列などについて考える場面を設けている。 漢字の構成・成り立ちに力点を置いている。		
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「はがき」「原稿用紙や手紙」を取り入れている。 「筆記具」について、種類を紹介している。運筆、原稿用紙の使い方等児童にわかりやすい。	学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「手紙」「新聞」を取り入れている。 「筆記具」について、種類や特徴を紹介している。		
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	書写で使う道具の作り方、漢字のいろいろな書き方を紹介している。	平仮名や片仮名ができるまでの過程やもともなった漢字、絵手紙、行書を紹介している。		
	(5) 他の教科等との関連	習得した書写力を生かした課題として、多くの学習場面を取り扱っている。どの教科で活用できるか、どのように活用できるか、どのように学習を進めればいいのかを明記。 様々な活動場面ノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 「もっと知りたい文字の旅」では、いろいろな時代の文字を紹介している。	習得した書写の力を生かした課題として、多くの学習場面を取り扱っている。 様々な活動場面に活用できるノート、観察記録、新聞、手紙などの書き方を紹介している。 「平仮名と片仮名ができるまで」では、いろいろな時代の文字や漢字以外の文字、平仮名や片仮名のでき方を紹介している。 漢数字などの標記を意識した構成である。		
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながり等朱色の薄墨による図版等で掲載。 単元のめあてやポイントを色分けして掲載。キャラクターを活用しての情報提供。 漢字表に毛筆書体の硬筆書体を併記。巻末に学習のまとめ、索引などの工夫がされている。	毛筆において筆圧や穂先の動き、点画のつながり等朱色の薄墨による図版等で掲載。 色分けしたポイント整理。キャラクターの活用。 漢字表に分解漢字筆順表を、ひらがな表には毛筆書体を掲載。 巻末に学習のまとめ、索引、書写体操などの工夫がされている。		

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	社会科	種類	4種
--------	-----	----	----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称)	2 東書	発行者名(番号・略称)	17 教出	発行者名(番号・略称)	38 光村	発行者名(番号・略称)	116 日文
		教科書の記号・番号	社会331、332、531、532、631、632	教科書の記号・番号	社会333、334、533、534、633、634	教科書の記号・番号	社会335、336、535、635	教科書の記号・番号	社会337、338、537、538、637、638
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・大単元の始めに「めあて」を示して問いをもたせ、次に見方・考え方の視点を各ページに載せる工夫をしている。 ・どの単元も「つかむ」「調べる」「まとめる」で構成し、調査・思考・表現する学習になるよう工夫している。 ・指導内容の具体的対象について、「ひろげる」で2～3つめの対象も取り扱い、学習を広げる工夫をしている。	・単元の各時間に学習課題が明示されており、問題解決的な学習ができるよう工夫している。 ・巻末にキーワードに関する索引があり、学習の振り返りがしやすい工夫がある。	・各単元で「ポップ」「ステップ」「ジャンプ」という学習の流れを設定し、問題解決的な学習ができるよう工夫している。 ・単元末に「まとめる・ひろげる」学習を設定し、小単元の学習を振り返られるように工夫している。	・「問題をつかむ」「予想を立てる」「調べる」「分かる」「振り返り」という学習の流れを設定し、問題解決的な学習ができるように工夫している。 ・単元末に「ふりかえってみよう」を設定し、学習の定着を図っている。				
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・写真や地図などの資料が大きく、量も多く、理解しやすいよう配慮している。 ・学習内容を「ことば」やコラムのコーナーで詳しく説明し、確かな理解を図っている。 ・単元の最後にまとめる活動を設け、内容の定着を図っている。	・「学びの手引き」で学び方の基礎を押さえ、「まとめ」では、書き込みながら内容の定着を図る工夫をしている。 ・都道府県の名称や位置などの定着が図れるように取扱いのページを設け、地図で位置を示すなど工夫している。	・学習内容を板書やノートに書いた形式でまとめたページを設け、基礎・基本の内容が習得しやすいよう工夫している。 ・都道府県の名称や位置などの定着が図れるように取扱いのページを設け、地図で位置を示す工夫をしている。	・「ふりかえってみよう」で小単元ごとの復習やまとめ方を例示し、理解を図っている。 ・「学び方・調べ方コーナー」で基礎的・基本的な学習内容の定着が図れるよう工夫している。				
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・「社説・マンガ・新聞・レポート・手紙」など書く活動を多彩に取り入れ、思考・表現の育成を図っている。 ・図や写真から気づいたことを話し合う活動を紹介する工夫をしている。 ・資料を見比べて思考・判断できるよう資料を効果的に取り入れる工夫をしている。	・「現場の人の話」や資料の種類を多く取り上げ、児童が思考しやすいよう配慮している。 ・「ふかめる」のページで児童の表現力や思考力の育成を図っている。	・社会的事象について考える力を付けるため、児童の思考に配慮した学習展開をし、意欲をもって学習が進められるように工夫している。 ・単元末に「まとめる・ひろげる」活動を設け、文章で書いたり、話し合ったりして思考力・判断力の育成を図っている。	・「学び方・調べ方コーナー」で「読み取る」「表現する」の項目を設け、思考力・表現力を育成するよう工夫している。 ・「ふりかえってみよう」のページで、書いたり、話し合ったりしてまとめることを重視する工夫がある。				
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・「まなび方コーナー」を設け、資料の見方や学習の仕方・調べ方を示し、自分で取り組めるよう工夫している。 ・学習計画の立て方、学習問題の答えを予想するページ、調べまとめるためのガイドを示す工夫をしている。 ・写真やノートのモデル例と「～してみよう」と呼びかけたコメントを載せ、自主的な学習を促す工夫がある。	・児童が自分で書き込むページを設け、主体的に学習するよう工夫している。 ・「まなびの手引き」を設け、資料を読み解く際の着眼点を提示し、問題解決的な学習活動ができるよう配慮している。	・巻頭に教科書の使い方のページがあり、学びの進め方を明確にしている。 ・キャラクターの吹き出しがあり、児童が自分で学習を進める際の手助けになるよう工夫している。	・キャラクターの吹き出しと「やってみよう」でポイントを示し、児童が主体的に学習できるようにしている。 ・「学び方・調べ方コーナー」で調べ方や表現方法を示し、学び方が身に付くよう配慮している。				
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・「い・かす」のページを設け、学習したことを児童の自分の生活や行動化につなげるよう工夫している。 ・教科書の中のキャラクターが調べ学習をした例として、「EU」を取り上げている。	・「もっと知りたい」のページで、児童の知的好奇心や興味関心をもとにして、学習を深められるように工夫している。	・「ジャンプ」「まとめる・ひろげる」のページで、児童の知的好奇心や興味関心を基に社会認識を広げたり、深めたりできるよう工夫している。	・「大きくジャンプ」のページで、児童の知的好奇心や興味関心を基に社会認識を広げたり、深めたりできるよう工夫している。				
	(5) 他の教科等との関連	・グラフ、表などの読み取りを取り上げ、算数との関連を図っている。 ・外国語活動等で学習する外国の文化や暮らしに触れ、関連を図っている。 ・「まとめる」で、かるた・新聞・手紙等の書き方やそのモデルを示し、国語との関連を図っている。	・道徳に関連して、郷土を愛する心や情報モラルに関わる内容を扱っている。 ・グラフの作り方や読み方のページがあり、算数科との関連を図っている。	・働く人々の活躍する姿を取り扱い、道徳との関連を図っている。 ・ポスター作りやスピーチ、表・グラフの活用やお礼の書き方を掲載し、他教科との関連を図っている。	・道徳に関連して、福祉、伝統文化、人権の尊重に関わる内容を扱っている。 ・新聞やポスター作り、グラフの活用で他教科との関連を図っている。				
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・淡い穏やかな色を用いて色分けし、見やすくなるよう工夫している。 ・キャラクターが呼びかけているようにコメントを載せ、親しみが持てるよう工夫している。 ・既習でない漢字や読みづらい言葉には、ふりがなをつけている。	・ページの数字が大きく、大単元ごとに色分けされて見やすいよう工夫している。 ・既習でない漢字や言葉には、ふりがなをつけている。	・学年に応じて文字の大きさや文字数を工夫している。 ・固有名詞には、ふりがなを付けている。	・小単元にアンダーラインを引き、見やすくなるよう工夫している。 ・既習でない漢字や言葉には、ふりがなをつけている。				

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	社会科(地図)	種類	2種
--------	---------	----	----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称)	2 東書	発行者名(番号・略称)	46 帝国	発行者名(番号・略称)	発行者名(番号・略称)
		教科書の記号・番号	地図431	教科書の記号・番号	地図432	教科書の記号・番号	教科書の記号・番号
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・版を大きくして、掲載する情報量を多く(地図は広範囲)載せる工夫をしている。 ・縮尺や示す内容が異なる地図を載せ、様々な見方ができるよう工夫している。 ・地図の縮尺をものさしのイラストも使って示し、距離が捉えやすくなるよう工夫している。	・図・イラストや写真を多く載せ、学習に役立つよう工夫している。 ・地名をたくさん載せ、地名が調べられるよう詳しくする配慮をしている。 ・世界の地図に「世界遺産」「なんでも世界一」の情報を加え、興味をもって地図に親しむよう工夫している。				
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・「地図帳の使い方」で、基礎的な内容をマンガやイラストで詳しく説明し、理解を図っている。 ・その県の主な農産物や工業製品は、地図上にイラストを加えて理解を図っている。 ・場所による違いや県の特徴、世界との関わりがより捉えやすくなるよう日本地図と結び付けて説明し、理解を図っている。	・「地図帳の成り立ちとやくそくごと」をイラストで詳しく説明する工夫をしている。 ・地図帳の使い方で、地図の見方を確認する問題を付けて理解を確かにする工夫をしている。 ・「注目しよう」やイラストの吹き出しにより着眼点を示し、理解を図っている。				
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・資料の大切な事柄、着眼点、次の学習課題をキャラクターの吹き出しで示し、児童に思考や判断を促す工夫をしている。 ・写真には解説を付け、思考や判断の材料となるよう工夫している。	・吹き出しにより問いをかけて、児童の思考や表現を促す工夫をしている。 ・学習に関わる内容について、別の地図や写真を載せて情報を増やし、思考するよう工夫している。				
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・索引にチェック欄をつけ、自主的に学習できるよう促している。 ・「確かめてみよう」や「どのあたりにあるのかな」など児童の学習を促すように吹き出しを付ける工夫をしている。	・キャラクターの吹き出しや「世界の国をクローズアップ」というコラムで地図を見るとき視点を示し、学習を促す工夫をしている。 ・「トライ！」と見出しをつけ、自主的な学習を促す工夫をしている。 ・索引の見方を図示し、自分で調べられるよう工夫している。				
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・世界と日本の自然を比較する資料を取り上げ、学習や国土の捉えを広げている。 ・地形の様子のページで、「もしき図」の言葉とともに「海溝」と「トラフ」を取り上げ、簡単に説明している。	・世界各地の地図では、その国の世界遺産、名物、生き物をイラストで取り入れ紹介している。 ・国の範囲について取り上げ、「領空」「領海」「接続水域」「排他的経済水域」について簡単に説明している。				
	(5) 他の教科等との関連	・グラフの読み取りについて、算数と関連を図っている。 ・理科と関連づけて、日本の気候・噴火・台風・自然災害を取り上げ、日本地図上に表している。	・棒グラフ、帯グラフの読み取りについて算数と関連させている。 ・地震や火山の災害、防災など自然災害に関する内容について、理科と関連を図っている。				
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・索引の文字を大きくし、調べ学習がしやすいよう工夫をしている。 ・資料では、地方ごとに色分けし、見やすいよう工夫している。 ・漢字にふりがなを付ける配慮をしている。	・ページの左端に「つめ」を設け、調べたい地方を見つけるやすくする工夫をしている。 ・版を教科書と同じサイズにして、扱いやすくしている。 ・全ての漢字にふりがなを付ける配慮をしている。 ・鮮やかな色を用いて見やすく捉えやすい工夫をしている。				

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	算数	種類	6種
--------	----	----	----

(2)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出
		131,132,231,232,331,332,431,432,531,532,631	133,233,333,433,533,633	134,234,235,334,335,434,435,534,643,635	136,236,237,336,337,436,437,536,636
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・児童が多様な考え方を読み取り、互いに伝えあうことで、表現力を高めるように工夫している。	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・解決方法を比較・検討することで表現力を高めるように工夫している。	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・6年生に別冊を設けたり、算数の内容を説明する言葉や用語を取り上げたりして表現力を高めるように工夫している。	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・算数の内容を説明する言葉や用語を取り上げて表現力を高めるように工夫している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・単元導入では、既習内容を振り返り、確認する場面設定と、新単元では学習への動機づけや素地づくりの場面を設定している。 ・単元と単元の間に既習内容を重複させて振り返る場面を設定している。	・単元導入では、学習の見通しを持つための学びの準備が設けられている。新しい単元での学習への意欲付けや素地づくりを行う場面設定がなされている。 ・既習内容を重複させて振り返る場面を設定している。	・単元の導入では学びの準備として既習内容を振り返り確認する場面が設定されている。 ・単元と単元の間に既習内容を重複させて振り返る場面を設定している。	・単元での導入では、学習の見通しをもつための学習の準備が設けられ、新しい単元での学習への動機付けや素地作りの設定がなされている。 ・単元と単元の間に既習内容を重複させて、振り返り場面を設定している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・筋道立てて考える能力を育て、算数的な表現を用いて話し合う活動になる工夫がなされている。 ・思考力の育成に向けた学習ができるように特設の構成がなされている。(やってみよう、考えよう伝えよう等) ・表現力等を育成するために、「説明しよう」の指示の言葉が多い。	・筋道立てて考える能力を育て、算数的な表現を用いて話し合う活動になる工夫がなされている。 ・振り返ったり、考えをまとめることを「ふりかえろう」で示している。 ・「算数の学び方」ではノート例、学習の進め方を提示している。	・筋道立てて考える能力を育て、算数的な表現を用いて話し合う活動になる工夫がなされている。 ・「算数たまたまばこ」や「もっと算数たまたまばこ」では、単元で学習したことを使い思考力を問う問題が提示されている。	・筋道立てて考える能力を育て、算数的な表現を用いて話し合う活動になる工夫がなされている。 ・「算数で使いたい考え方」では、学びの手引きを示し、「友だちのノートを見てみよう」では、ノートの例を示している。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・算数的活動を通して、児童が問題意識持って主体的に取り組む活動が多く取り入れている。 ・学習すべきことが写真等で示し、教科書を使って学習がしやすく、巻末には各練習問題とリンクさせた練習問題(ほじゅうもんだい)やふりかえりコーナーや自習コーナーで自力で学び直しができる。	・算数的活動を通して、児童が問題意識持って主体的に取り組む活動が多く取り入れている。 ・2年生以上の巻末の「レッツトライ」では、基本問題と☆マークをつけた発展問題を設定し、自主的に学習ができるように工夫されている。	・算数的活動を通して、児童が問題意識を持って主体的に取り組む活動が多く取り入れられている。 ・全学年に切り取り教具を設け、学習に活用できるように設定している。 ・「サポート」で基本問題、「チャレンジ」で発展問題を設定し、自主的に学習できる設定がされている。	・算数的活動を通して、児童が問題意識持って主体的に取り組む活動が多く取り入れられている。 ・切り取り教具を設けて、学習の活用が図られている。 ・2年生以上の巻末に「ステップアップ算数」では、基本問題と発展問題を設定し、自主的に学習ができるように工夫されている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「はってん」マークを付けて、他の内容と区分している。 ・はってんマーク、算数のおはなし、算数の新発見の言葉で示している。	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「はってん」マークを付けて、他の内容と区分している。	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「はってん」マークを付けて、他の内容と区分している。	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「はってん」マークを付けて、他の内容と区分している。
	(5) 他の教科等との関連	・絵や写真を掲載し、児童の関心が高まるように工夫されている。 ・他教科、道徳などとの関連性について配慮している。 ・日常生活との関わり、環境面、省エネルギー、福祉等を取り上げている。	・絵や写真を掲載し、児童の関心が高まるように工夫されている。 ・他教科、道徳などとの関連性について配慮している。 ・日常生活との関わり、環境面、省エネルギー、福祉等を取り上げている。	・絵や写真を掲載し、児童の関心が高まるように工夫されている。 ・他教科、道徳などとの関連性について配慮している。 ・日常生活との関わり、環境面、防災と防犯、伝承遊び等を取り上げている。	・絵や写真を掲載し、児童の関心が高まるように工夫されている。 ・他教科、道徳などとの関連性について配慮している。 ・日常生活との関わり省エネルギー、防災と防犯、伝承遊び等を取り上げている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・写真や図、挿絵を掲載し説明を補うと共に、人物やキャラクターが登場し、アドバイスやヒントを示す設定がなされている。 ・全体がユニバーサルデザイン書体を使用し、見やすく、色覚問題の研究者による配色やデザインの検証を行っている。	・写真や図、挿絵を掲載し説明を補うと共に、キャラクターが登場し、アドバイスやヒントを示す設定がなされている。 ・色覚問題の個人差を問わずできるだけ多くの人に見やすいユニバーサルデザインによって作られている。	・全奇数ページに単元の題名が記されていて分かりやすい設定がなされている。 ・写真や図、挿絵を掲載し説明を補うと共に、キャラクターが登場し、アドバイスやヒントを示す設定がなされている。	全体がユニバーサルデザインに配慮して、見やすく、色覚問題の研究者による配色やデザインの検証を行っている。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	算数	種類	6種
--------	----	----	----

(2) 枚中 (2) 枚

採択基準	基本観点	61 啓林館	116 日文	発行者名(番号・略称)	発行者名(番号・略称)
		138.238.239.338.339.438.439.538.638	140.240.241.340.341.440.441.540.541.640.641	教科書の記号・番号	教科書の記号・番号
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・どの学年も同一時期に同じ領域の学習が出来るよう配列の工夫がなされている。 ・1, 5, 6年生が年間1冊の合本になっており、学習の見通しを持ったり振り返りをしたりしやすくなっている。 ・「教科書の使い方」と「学習の進め方」で学習の筋道を示し、単元には「めあて」と「まとめ」を明示し、見通しをもって学習が進められる。巻末に重要指導事項を示している。また、5年生からは「(4年生)までのまとめ」を加え、既習事項の確認もできるようにしている。	・各学年の目標達成に必要な基礎的・基本的な知識・技能や考え方が習得できるように工夫している。 ・大きな紙面を活用したり、児童が話し合ったりすることで表現力を高めるように工夫している。		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・「復習」→「準備」→(単元の学習)→「練習」→「たしかめましょう」という学習の流れで、問題をたくさん解きながら基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がされている。また、「ふりカエル」で参考にするページや単元も記載している。 ・巻末に「もうすぐ〇年生」「発見！算数島」があり、学年末に、その学年の基礎的・基本的な内容の習熟を図り、確実に定着させる工夫と興味関心に応じて取り組む発展的内容が掲載されている。	・単元での導入では、学習の見通しをもつための学習の準備が設けられ、新しい単元での学習への動機付けや素地作りの設定がなされている。 ・単元と単元の間に既習内容を重複させて、振り返り場面を設定している。		
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・「(もっと) 学びをいかそう」で発展問題や活用問題を取り扱い、思考力の育成を図っている。(緑色のページ) ・4年上から「にている」「もどる」、4年下からはそれに「きまり」を加えた「算数でよく使う考え方」(思考法)を示している。(巻末の算数資料集にまとめあり) ・巻末に「考えがよくわかる わくわく算数ノート」として、考えがしっかりかかっているよいノートにするポイントを例示している。	・筋道立てて考える能力を育て、算数的な表現を用いて話し合う活動になる工夫がなされている。 ・「算数ノートをつくらう」では、ノート例を示し、「学び方ガイド」では学び方を示し、「算数で使いたいことば・考え方」では、表現に方法の工夫が設定されている。		
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・巻末に「発見！算数島」(もっと練習)等があり児童が主体的に学習に取り組め工夫がある。(毎時間終了後に「もっと練習」への「リンクマーク」あり) ・「きっかけ」「ふりかえり」「発展」「もどる」「えんぴつくん」等、自主的な学習を支援する「ふきだし」があり、考える手立てとして活用できる。 ・「夏休み算数自由研究」「算数実験室」では子ども達が調べまとめる探究活動が取り上げてある。	・算数的活動を通して、児童が問題意識を持って主体的に取り組む活動を多く取り入れている。 ・2 年生以上の巻末の「算数マイトライ」では、基本問題と発展問題を設定し、自主的に学習ができるよう工夫されている。		
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「☆」マークを付けて、他の内容と区分をして扱っている。	・児童の興味・関心に応じて学習できるように「はってん」マークを付けて、他の内容と区分 している。		
	(5) 他の教科等との関連	・5・6年生の巻頭に「算数から仕事へ」があり、キャリア教育の視点で、算数科の学習と色々な分野とのつながりを示している。 ・巻末の「算数資料集」の「さがしてみよう」で、身の回りや日常(他教科)にある算数について示している。 ・4年生以上に「コラム」のようなコーナーがあり、「歴史(和算)」「発展」「日常」の算数について紹介している。 ・社会科と関連した問題が扱われており、多様な考え方を扱い、興味関心が広がる工夫がなされている。	・絵や写真を掲載し、児童の関心が高まるように工夫されている。 ・他教科、道徳などとの関連性について配慮している。 ・日常生活との関わり、環境面、省エネルギー等を取り上げている。		
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・写真や図、挿絵を掲載し説明を補うと共に、人物やキャラクターが登場し、アドバイスやヒントを示す設定がなされている。 ・NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を受けたデザイン・配色がなされている。 ・統一したマークを使用し、学習の展開がわかりやすい。(葉っぱ問題、□問題、めあて、おたすけ、まとめ、△問題、○問題(青色問題))	・全体がユニバーサルデザイン配慮している。		

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	理科	種類	5種
--------	----	----	----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
		理科331, 431, 531, 631	理科332, 432, 532, 632	理科333, 433, 533, 633	理科334, 434, 534, 634	理科336, 436, 536, 636 337, 437, 537, 637
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・学習指導要領の内容を適切に配置している。 ・実生活や実社会からイメージされる事例を掲載し実感を伴った理解を図るようにしている。 ・写真や絵を多用、巻末に学習の仕方、実験器具の使い方、巻頭に育てておくべき植物の紹介を掲載している。 ・文章や図・写真などが込み合わず、見やすい。	・学習指導要領の内容を適切に配置している。 ・実生活からイメージされる事例を掲載し実感を伴った理解を図るようにしている。 ・写真や絵を多用している。実験の扱いを丁寧に行っている。 ・絵や図、写真の色彩が濃く、はっきりとしている。	・学習指導要領の内容を適切に配置している。 ・実生活からイメージされる事例を掲載し実感を伴った理解を図るようにしている。 ・写真や絵を多用している。巻頭に学習の進め方を掲載している。 ・各頁の外側に課題解決学習の場面が順に書かれていて、学習場面の把握がしやすくなっている。	・学習指導要領の内容を適切に配置している。 ・実生活からイメージされる事例を掲載し実感を伴った理解を図るようにしている。 ・単元の初めに小学校から中学校まで見とおした学習のつながりを記載している。 ・実験結果は次の頁を開かないと見えないようにして、児童が自ら実験をして結果を得ようとする意欲が損なわれないようにしている。	・学習指導要領の内容を適切に配置している。 ・実生活からイメージされる事例を掲載し実感を伴った理解を図るようにしている。 ・写真や絵を多用している。巻末に地域資料集、わくわく理科プラスなどを付けている。 ・「結果」「考察」などを明確に表記している。 ・実験や観察で注意する点を適切に記載している。 ・季節に合わせた単元配列がなされている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・設定した「ふしぎ」を観察・実験を通して、解き明かす手順がはっきりしている。 ・巻頭に学び方「たしかめよう」のコーナーを見開きで示し学習の定着を図っている。 ・ものづくりなどの科学的な体験内容を単元末で取り扱っている。 ・各課題のまとめが箇条書きで整理されていて分かりやすくなる配慮がなされている。	・見つけた問題を観察・実験を通して、わかったことをまとめる学び方が一貫している。 ・「ふりかえろうコーナー」をつくり学習の定着を図っている。 ・夏休みの研究で博物館などの紹介がある。 ・各課題のまとめを「わかったこと」として、枠の中にまとめられていて、見つけやすくされている。	・問題を見つけ解決するための観察・実験を行い、まとめるという学習の流れがはっきりしている。 ・チェック式で実験器具の使い方を示している。 ・大事な語句は強調文字で比較的多く記述されている。 ・実験器具の扱い方や操作の仕方が大きな写真や図で紹介されていて、技能面の習得に役立つよう配慮されている。	・活動をきっかけに問題を見つけ、観察・実験を通して、わかったことをまとめる学習の流れとなっている。 ・巻末に「基礎」「まとめ」コーナーを設け内容の定着を図っている。 ・各課題のまとめを「わかったこと」として、枠の中にまとめられていて、見つけやすくされている。	・発達段階の応じた観察・実験が配列されている。 ・ものづくりなどの科学的な体験内容を数多く、主に単元末や巻末に取り扱っている。 ・「確かめ」「力だめし」コーナー、「理科プラス」などを設け学習の定着を図る工夫をしている。 ・別冊「わくわく理科プラス」で、学習前に既習内容を、学習後に学んだことを確認することができ、基礎的・基本的な内容の定着が図られるような配慮がなされている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・各単元ごとに問題解決活動が適切に配置されている。 ・ノートの書き方や話し合いの仕方などを具体的に示し、言語活動を充実させるように工夫している。 ・「活用しよう」「考えよう」コーナーで何を考えればよいか明確にしている。 ・実験結果をドットグラフでまとめる例が紹介されていて、思考力や判断力を養う配慮がなされている。	・各単元ごとに問題解決活動が適切に配置されている。 ・「やってみよう」「話し合おう」「計画をたてよう」コーナーで自分たちで考えたり話し合ったりする活動を表記している。 ・児童が考えたり話し合ったりする様子が絵で紹介され、思考や言語活動を促す配慮がなされている。	・各単元ごとに問題解決活動が適切に配置されている。 ・「活用しよう」コーナーで実験の予想を数種類提示しイメージさせようとしている。 ・児童が考えたり話し合ったりする様子が絵で紹介され、思考や言語活動を促す配慮がなされている。	・各単元ごとに問題解決的な活動が適切に配置されている。 ・「はてな」コーナーで水溶液の安全な取り扱い方等を見開きを使っていいに示すなどの工夫がなされている。 ・実験のページに「変える条件」と「同じにする条件」が表で整理されていて、条件制御に関する思考力の育成の手助けとなるような配慮がなされている。(4年)	・各単元ごとに問題解決活動が適切に配置されている。 ・「わたしのまとめ」を単元末に掲示して、学習内容をまとめている。 ・巻頭に学習の流れを提示し思考の過程を示している。 ・児童が考えたり話し合ったりする様子が絵で紹介され、思考や言語活動を促す配慮がなされている。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・理科の学習の進め方を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。 ・「学びをつなごう」「理科のひろば」等で発展的な学習を紹介している。 ・ノートの例が紹介されていて、児童のノート作りの参考になるような配慮がなされている。	・理科の学び方を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。 ・自由研究の例をあげていいに説明している。 ・児童が実験している様子を写真や絵で紹介され、実験の仕方が分かりやすくなる配慮がなされている。	・学びの流れを記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。 ・「やってみよう」コーナーを作り、自主的に学習に取り組みやすくしている。 ・ノートの例が紹介されていて、児童のノート作りの参考になるような配慮がなされている。	・学習の順序を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。 ・単元末に「確かめ」として、穴埋め式の問題と関連する頁が示されていて、児童の復習に役立つように配慮がなされている。	・学習の進め方を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたり、別冊「理科プラス」を付属したりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。 ・巻末にまとめて、ものづくりの例や自由研究(例を見開きで紹介)を掲載している。単元末には児童の字で「学習のまとめ」を掲載している。 ・科学的な知識や概念を活用して考える学習内容や話し合い活動を設定している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・「発展」と明記した形式で記載している。 ・今日的な課題として、エネルギー資源問題、地球環境問題、自然災害等に関する内容を紹介している。 ・「説明しよう」コーナーを設けている。 ・「理科のひろば」として、発展内容や実生活での応用場面などを紹介している。	・「発展」と明記した形式で記載している。 ・今日的な課題として、エネルギー資源問題、地球環境問題、自然災害等に関する内容を紹介している。 ・「理科のたまてばこ」「ジャンプ」コーナーを設け、発展内容や実生活での応用場面などを紹介している。	・「発展」と明記した形式で記載している。 ・今日的な課題として、エネルギー資源問題、地球環境問題、自然災害等に関する内容を紹介している。 ・「やってみよう」コーナーを設けている。 ・「読み物」として、発展内容や実生活での応用場面などを紹介している。	・「発展」と明記した形式で記載している。 ・今日的な課題として、エネルギー資源問題、地球環境問題、自然災害等に関する内容を紹介している。 ・各単元に「資料」のページを設け、顔写真付きで関係者のコメントを掲載している。「読み物」として、発展内容や実生活での応用場面などを紹介している。	・「発展」と明記した形式で記載している。 ・今日的な課題として、エネルギー資源問題、地球環境問題、自然災害等に関する内容を紹介している。
	(5) 他の教科等との関連	・生活科、他教科、道徳、中学校理科との関連について、独自のマークを付け記載している。 ・「理科の広場」や単元最初の「思い出そう」コーナーを掲載している。 ・「人の誕生」で4年保健の学習内容を思い出させるような表記がある。	・生活科、他教科、道徳、中学校理科との関連について、独自のマークを付け記載している。 ・「理科のたまてばこ」コーナーを掲載している。七輪、コンロ等身近な例を紹介している。 ・「人の誕生」で、妊婦や乳幼児を抱える母親に対する配慮が大切であることを紹介している。(人権学習)	・生活科、他教科、道徳、中学校理科との関連について、独自のマークを付け記載している。 ・写真を使った「思い出してみよう」コーナーを掲載している。 ・「仕事にいかす」としたコラムに、理科の内容が仕事に生かされていることを紹介している。(キャリア教育)	・生活科、他教科、道徳、中学校理科との関連について、独自のマークを付け記載している。 ・単元最初に学習のつながりを明記している。松尾芭蕉の句なども取り上げている。 ・「人の誕生」で、妊娠・出産を経験した母親の感想がコラムとして掲載されている。(性教育・子心と命の学習)	・生活科や算数科だけでなく、道徳、中学校理科との関連について、独自のマークを付け記載している。 ・「理科の広場」「学習をつなげよう」「算数のまど」等を掲載している。巻末の「算数のまど」では、算数との関連を重視し、棒グラフ、角、平均など実験や結果をまとめる時に役立てられる配慮がしてある。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・適切な表現を用い、写真や図等を見やすく記載し、理解しやすいようにしている。 ・巻頭に理科学習の進め方を示し、理科学習の方法を記載している。巻末に基礎技能や思考・表現に関する内容をまとめている。 ・項目をフォント等を変えてわかりやすく表記している。 ・複数の写真を並べて掲載し、比較しやすくなっている。	・適切な表現を用い、写真や図等を見やすく記載し、理解しやすいようにしている。 ・巻頭に理科の学び方を示し、理科学習の方法を記載している。巻末に基礎技能や知識・理解に関する内容をまとめている。	・適切な表現を用い、写真や図等を見やすく記載し、理解しやすいようにしている。 ・巻頭に学びの流れを示し、理科学習の方法を記載している。巻末に基礎技能や思考・表現に関する内容をまとめている。 ・ページ横に「大事なことば」チェックや「結果」「考察」「まとめ」の視点を整理している。 ・複数の写真を並べて掲載し、比較し易くしている。	・適切な表現を用い、写真や図等を見やすく記載し、理解しやすいようにしている。 ・巻頭に学習の順序を示し、理科学習の方法を記載している。巻末に知識理解や環境保全に関する内容をまとめている。 ・絵や図、写真が大きめに掲載され、分かりやすくなっている。	・適切な表現を用い、写真や図等を見やすく記載し、理解しやすいようにしている。 ・巻頭に学習の進め方を示し、理科学習の方法を記載している。別冊「わくわく理科プラス」に基礎技能や知識理解に関する内容をまとめている。 ・絵や図、写真が大きめに掲載され、分かりやすくなっている。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	生活	種類	7種
--------	----	----	----

(3) 枚中(1) 枚

採 択 基 準	基 本 観 点	発行者の略称・記号	東書 2	発行者の略称・記号	東書 2	発行者の略称・記号	大日本 4	発行者の略称・記号	大日本 4	発行者の略称・記号	学図 11	発行者の略称・記号	学図 11
		教科書の記号・番号	生活131	教科書の記号・番号	生活132	教科書の記号・番号	生活133	教科書の記号・番号	生活134	教科書の記号・番号	生活135	教科書の記号・番号	生活136
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 単元の構成や授業の流れがよくわかる。 自分の成長を振り返る活動が入っている。 資料が豊富である。	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 単元の構成や授業の流れがよくわかる。 自分の成長を振り返る活動が入っている。 資料が豊富である。	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストを中心に、写真を織り交ぜ学習活動の流れがよくわかる。 「○○となかよし」というテーマでまとめている。	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストを中心に、写真を織り交ぜ学習活動の流れがよくわかる。 「○○はっけん」というテーマでまとめている。	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストと写真で、学習のイメージを持ちやすい。 5つの大単元から構成している。	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストと写真で、学習のイメージを持ちやすい。 5つの大単元から構成している。						
2 内容が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための配慮	児童の気付きに繋がるヒントが豊富である。 「単元名→本時の学習課題→活動→まとめ」の学習の過程が明らかで、内容の定着が図りやすくなっている。	児童の気付きに繋がるヒントが豊富である。 「単元名→本時の学習課題→活動→まとめ」の学習の過程が明らかで、内容の定着が図りやすくなっている。	科学的な視点や具体物を提示し、基礎基本が確実に定着するよう工夫している。	科学的な視点や具体物を提示し、基礎基本が確実に定着するよう工夫している。	学習活動を「まなびかたずかん」で、「話す、きく、みる、そだてる、あそぶ」に整理して基礎的・基本的な内容の定着に繋がるようにしている。 「ものしりシート」で、観察日記の書き方が丁寧に例示してある。	学習活動を「まなびかたずかん」で、「話す、きく、見る、かく、そうだんする、はっぴょうする」に整理して基礎的・基本的な内容の定着に繋がるようにしている。 「ものしりシート」で、観察日記の書き方が丁寧に例示してある。						
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	まとめカードを例示し、書いてまとめることを意識している。 繰り返し学習対象に関われるように学習活動を構成している。	まとめカードを新聞や冊子に発展させている。 繰り返し学習対象に関われるように学習活動を構成している。	記録の具体例や活動例の提示は控えめだが、伝え合い話し合いの活動例を提示し、話し言葉での表現を意識している。	記録の具体例や活動例の提示は控えめだが、伝え合い話し合いの活動例を提示し、話し言葉での表現を意識している。	「きみならどうする」というページを設け、児童の思考の活動のヒントを掲載している。 「こんなときどうする」「どうしてかな」「どうしよう」など、思考させる吹き出しが多用してある。	「きみならどうする」というページを設け、児童の思考の活動のヒントを掲載している。 「こんなときどうする」「どうしてかな」「どうしよう」など、思考させる吹き出しが多用してある。						
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	体験・見学・つくる活動など、多くの活動が例示されている。 吹き出しなどの表記で、児童が親しみやすく積極的に学習できるようにしている。	体験・見学・つくる活動など、多くの活動が例示されている。 吹き出しなどの表記で、児童が親しみやすく積極的に学習できるようにしている。	具体的な遊び方や作り方の説明が丁寧である。 「がくしゅうどうぐばこ」に学習や日常生活に必要なスキルをまとめ、自主的な活動を行いやすいようにしている。	具体的な遊び方や作り方の説明が丁寧である。 「がくしゅうどうぐばこ」に学習や日常生活に必要なスキルをまとめ、自主的な活動を行いやすいようにしている。	単元内にある「ものしりノート」や巻末の「まなびかたずかん」によって、主体的に学習できるよう工夫している。	単元内にある「ものしりノート」や巻末の「まなびかたずかん」によって、主体的に学習できるよう工夫している。						
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	児童の興味や関心に応じて、学習を发展させられるよう工夫している。	児童の興味や関心に応じて、学習を发展させられるよう工夫している。	安全について取り扱っている。 「がくしゅうどうぐばこ」で理科などへの発展を考慮している。	「がくしゅうどうぐばこ」を活用し、福祉や国際理解に関する学習課題が扱えるようにしている。	「あんぜんのページ」に、安全防災について学習できるようにまとめている。	「まなびかたずかん」に、道具の使い方、IT機器の活用についてまとめている。 「あんぜんのページ」に、道具の使い方と安全防災について学習できるようにまとめている。						
	(5) 他の教科等との関連	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。	中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。 道徳との関連を考慮している。						
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	「べんりてちょう」に学習を進める上でのスキルをまとめている。 見出しも文字が大きい。 「ぼけっとずかん」(上巻)があり、学習活動に役立つ。	「べんりてちょう」に学習を進める上でのスキルをまとめている。 見出しも文字が大きい。 見出しも文字が大きい。	透明シートやモノクロページを活用して、児童の興味を引く工夫がしてある。 「がくしゅうどうぐばこ」に学習に役立つマナーや学習の視点がまとめられている。 学習内容に関連した事柄が、その時々ページに端に記載されている。	透明シートやビンゴカードなどを活用して、児童の興味を引く工夫がしてある。 「がくしゅうどうぐばこ」に学習に役立つマナーや学習の視点がまとめられている。 学習内容に関連した事柄が、その時々ページに端に記載されている。	活動ごとに色分けしてある。 「ものしりの一と」で観察ノートや手紙の書き方を分かりやすく提示している。 保護者に学習内容の説明がしてある。	活動ごとに色分けしてある。 「ものしりの一と」で観察ノートや手紙の書き方を分かりやすく提示している。 野菜図鑑で、様々な野菜の育て方がまとめて例示してある。 保護者に学習内容の説明がしてある。						

教科用図書調査研究報告書				教科・種目名		生活		種類		7種			
(3)枚中(2)枚													
採 択 基 準	基 本 観 点	発行者の略称・記号	教出 17	発行者の略称・記号	教出 17	発行者の略称・記号	光村 38	発行者の略称・記号	光村 38	発行者の略称・記号	啓林館 61	発行者の略称・記号	啓林館 61
		教科書の記号・番号	生活137	教科書の記号・番号	生活138	教科書の記号・番号	生活141	教科書の記号・番号	生活142	教科書の記号・番号	生活143	教科書の記号・番号	生活145
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストと写真で、視覚的に分かりやすい。 季節を軸に単元構成している。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 イラストと写真で、視覚的に分かりやすい。 季節を軸に単元構成している。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れがイラストと写真で掲載され分かりやすく、子ども目線に立った表現で、学習が展開されている。 名人、友だち等、人とかかわりを大切にした学習活動が工夫されている。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れがイラストと写真で掲載され分かりやすく、子ども目線に立った表現で、学習が展開されている。 名人、友だち等、人とかかわりを大切にした学習活動が工夫されている。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れがイラストと写真で掲載され分かりやすい。また、巻末のわくわくずかん、別冊たんけんブック等により、学習に活用できる多くの情報が提供されている。(生活だけでなく、どの学習においても大切に示されている。) たんけんブックは、活動にでた時に使いやすい工夫がされている。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れがイラストと写真で掲載され分かりやすい。また、巻末のいきいきずかん、別冊たんけんブック等により、学習に活用できる多くの情報が提供されている。(生活だけでなく、どの学習においても大切に示されている。) たんけんブックは、活動にでた時に使いやすい工夫がされている。	
2 内容が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための配慮	学習カードを掲載し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。 振り返る視点を明示している。		学習カードを掲載し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。 振り返る視点を明示している。		活動をホップ・ステップ・ジャンプと表し、学習活動の進み方を明示している。 児童の意欲がわく表示で、学習活動の流れがよくわかり、基礎的・基本的な内容の定着を図ろうとしている。		活動をホップ・ステップ・ジャンプと表し、学習活動の進み方を明示している。 児童の意欲がわく表示で、学習活動の流れがよくわかり、基礎的・基本的な内容の定着を図ろうとしている。		学習の過程を「わくわく・いきいき・つたえあおう・ちゃれんじ」の4つに分けて、学習活動が構成され、基礎的・基本的な内容の定着を図ろうとしている。 教科書にそって指導することで、基礎・基本が漏れ落ちなく指導できる構成になっている。		学習の過程を「わくわく・いきいき・つたえあおう・ちゃれんじ」の4つに分けて、学習活動が構成され、基礎的・基本的な内容の定着を図ろうとしている。 教科書にそって指導することで、基礎・基本が漏れ落ちなく指導できる構成になっている。	
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	「はっけんヒント」「ぐんぐんポケット」「おしゃべりタイム」などで、思考を促す問いかけがある。 「ぐんぐんポケット」に学習に必要なスキル(話し方、伝え方)をまとめている。		「はっけんヒント」「ぐんぐんポケット」「おしゃべりタイム」などで、思考を促す問いかけがある。 「ぐんぐんポケット」に学習に必要なスキル(説明の仕方)をまとめている。		単元の一つずつヒントや「？」のコーナーを設けることで、子どもの気付きを大切にしてい、考える活動が自然に行えるように工夫されている。 「ジャンプ」の中では、伝え合うことを大切に学習展開できるよう工夫している。		単元の一つずつヒントや「？」のコーナーを設けることで、子どもの気付きを大切にしてい、考える活動が自然に行えるように工夫されている。 「ジャンプ」の中では、伝え合うことを大切に学習展開できるよう工夫している。		「わくわくずかん」の中で良い表現の仕方、聴き方について学ばせたり、吹き出しやカードなどで活動を促したりできるよう工夫されている。 「こんなときどうしよう」で、立ち止まって思考できる工夫がされている。		「いきいきずかん」の中で探検マナー、人とかかわりや体験を深めるための方法等について学ばせたり、学習のまとめ方、観察の仕方などを例示したりして学習が深まるよう工夫されている。 「こんなときどうしよう」で、立ち止まって思考できる工夫がされている。	
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	「おしゃべりタイム」や「はっけんヒント」で、自主的な学習ができるよう配慮している。 「ぐんぐんポケット」に学習に必要なスキルをまとめている。		「おしゃべりタイム」や「はっけんヒント」で、自主的な学習ができるよう配慮している。 「ぐんぐんポケット」に学習に必要なスキルをまとめている。		子どもらしい説明が吹き出しで書かれていて分かりやすく、自分の活動をイメージしやすくしている。また、情報を与え過ぎていないので、そこから自分なりの考えで学習を広げ考えることができる。 「どうすれば～～」のコーナーで、主体的な活動ができるように工夫している。		子どもらしい説明が吹き出しで書かれていて分かりやすく、自分の活動をイメージしやすくしている。また、情報を与え過ぎていないので、そこから自分なりの考えで学習を広げ考えることができる。 「どうすれば～～」のコーナーで、主体的な活動ができるように工夫している。		どの子にとっても分かりやすい学習カードの例が示されているので、課題のある子どもも無理なく学習に向かえるよう工夫されている。 「わくわくずかん」「たんけんブック」で分からないことを調べ、自主的な学習が進められるよう工夫している。 幼稚園・保育園との連携を大切に活動したいと意欲がもてるように工夫されている。		どの子にとっても分かりやすい学習カードの例が示されているので、課題のある子どもも無理なく学習に向かえるよう工夫されている。 「いきいきずかん」「たんけんブック」で、分からないことを調べ、自主的な学習が進められるよう工夫している。また、1年生との連携を大切に活動したいと思うような、児童の意欲を高める工夫が見られる。	
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	単元内に「はってんコーナー」があり、社会科や理科に繋がる内容が提示されている。 「ぐんぐんポケット」に、言葉や安全や読書について取り扱っている。		単元内に「はってんコーナー」があり、社会科や理科に繋がる内容が提示されている。 「ぐんぐんポケット」に、上巻に加え、環境についての取り扱いがある。		3年生以降の理科につながる学習となるよう、各単元に工夫した学習活動が取り入れられている。		3年生以降の社会科や理科につながる学習となるよう、各単元に工夫した学習活動が取り入れられている。		「ちゃれんじ」で家庭生活に役立つ内容や発展的な学習内容を取り上げたり、「わくわくずかん」「たんけんブック」で、理科への発展や安全について取り扱ったりしている。		「ちゃれんじ」で家庭生活に役立つ内容や発展的な学習内容を取り上げたり、「いきいきずかん」「たんけんブック」で、社会・理科への発展や安全について取り扱ったりしている。	
	(5) 他の教科等との関連	単元ごとに関連する教科・領域・道徳など分かりやすく表示している。		単元ごとに関連する教科・領域・道徳など分かりやすく表示している。 中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。		うたをうたおうのマークがあり、音楽との関連も図っている。 単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。中学年以降の理科への発展を意識している。		うたをうたおうのマークがあり、音楽との関連も図っている。 単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。 中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。		単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。特に中学年以降の理科への発展を意識した少し高度な内容にも触れている。 「つたえあおう」の学習では、道徳の学習を意識したページがある。		単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。町探検を大切にし、中学年以降の社会科への発展を意識した少し高度な内容にも触れている。 「つたえあおう」の学習では、道徳の学習を意識したページがある。	
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	巻末の「せいかつかノート」で、学習の推移と季節が整理できるようにしている。 保護者に教科書編成の趣旨を説明している。		巻末の「せいかつかノート」で、学習の推移と季節が整理できるようにしている。 保護者に教科書編成の趣旨を説明している。		ユニバーサルを意識し、外国の子ども、障害のある子どもの絵を提示している。 巻末に「きせつのおくりもの」を設け、一年間学習してきた生き物を整理している。 イラストには、児童の興味・関心を引くような工夫が見られる。また、活動する上での注意事項を明示している。		ユニバーサルを意識し、外国の子ども、障害のある子どもの絵を提示している。 巻末に「きせつのおくりもの」を設け、一年間学習してきた町の様子を整理している。 イラストには、児童の興味・関心を引くような工夫が見られる。また、活動する上での注意事項を明示している。		ユニバーサルを意識し、外国の子ども、障害のある子どもの絵を提示している。全体的に色遣いがソフトである。 「わくわくずかん」「たんけんブック」を設け、学習しやすくしている。 教科書の中に子どもが書きこめる欄がある。 保護者対象に、教科書の編成方針を明記している。		ユニバーサルを意識し、外国の子ども、障害のある子どもの絵を提示している。全体的に色遣いがソフトである。 「いきいきずかん」「たんけんブック」を設け、学習しやすくしている。 教科書の中に子どもが書きこめる欄がある。 保護者対象に、教科書の編成方針を明記している。	

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	生 活	種 類	7種
--------	-----	-----	----

(3) 枚中(3) 枚

採 択 基 準	基 本 観 点	発行者の略称・記号	日文 116	発行者の略称・記号	日文 116	発行者の略称・記号		発行者の略称・記号		発行者の略称・記号		発行者の略称・記号	
		教科書の記号・番号	生活 146	教科書の記号・番号	生活 146	教科書の記号・番号		教科書の記号・番号		教科書の記号・番号		教科書の記号・番号	
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れはイラストをふんだんに使って説明してあるのでわかりやすい。		取り上げている内容は、目標達成のため適切である。 活動の流れはイラストをふんだんに使って説明してあるのでわかりやすい。									
	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための配慮	見つけ方や気付きのコツ・記録のコツがわかるように、吹き出しやカードが提示してある。		見つけ方や気付きのコツ・記録のコツがわかるように、吹き出しやカードが提示してある。									
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	ワークシートは子どもの文字や絵で描かれていて、親しみやすく、思考への抵抗感をあまり感じない。 気付きを交流する方法が示されている。		ワークシートは子どもの文字や絵で描かれていて、親しみやすく、思考への抵抗感をあまり感じない。 気付きを交流する方法が示されている。									
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	巻末に「なんでもずかん」があり、活動しやすくしている。 調べ方、まとめ方の例示がしてある。		巻末に「なんでもずかん」があり、活動しやすくしている。 調べ方、まとめ方の例示がしてある。									
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	巻末の「なんでもずかん」で、安全について内容の学習ができるようにしている。 外国の様子も例示している。		巻末の「なんでもずかん」で、発展的な内容の学習や環境教育・ユニバーサルデザインの教育や食育について学習ができるようにしている。 点字のページがある。									
2 内容が学習指導を進める上で適切であること	(5) 他の教科等との関連	単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。 「なんでもずかん」で、他教科・道徳と関連させた学習ができる。		単元ごとに関連する教科・領域・道徳について配慮している。 「なんでもずかん」では、中学年以降の社会科や理科への発展を意識している。									
	(1) 表記・表現の工夫	立体の挿絵や点字を使用している。 「なんでもずかん」で学習活動を支援している。		立体の挿絵や点字を使用している。 「なんでもずかん」で学習活動を支援している。									
3 使用上の便宜が工夫されていること													

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	音楽科	種類	2種
--------	-----	----	----

(1) 枚中(1) 枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 17 教育出版	発行者名(番号・略称) 27 教育芸術社
		教科書の記号・番号 131, 231, 331, 431, 531, 631	教科書の記号・番号 132, 232, 332, 432, 532, 632
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・基礎的な表現の能力を伸ばすために、音楽表現のポイントが示されている。 ・鑑賞の能力を身に付けていくために、「音楽を特徴付けている要素」と「音楽の仕組み」が示されている。 ・4年生以上の表紙裏には、現代の音楽家のメッセージが掲載されている。 ・指導のポイントが表示しており、写真や挿絵を見ても、分かりやすい掲載になっている。 ・写真が多いため、情景が浮かべやすい。 ・全校合唱曲として「さんぽ」が全学年共通で入っており、全校合唱(合奏)として取り組み、楽しむことができる工夫がしてある。 ・巻頭ページは、音楽家や人が中心である。 ・教材や楽曲の説明が丁寧で、児童が理解しやすい言葉を用いて説明されている。	・題材ごとに学習目標、学習活動、活動のヒントを示し、児童が学習内容を捉えながら活動できるようになっている。 ・音楽科の目標に準じて、「A 表現」「B 鑑賞」及び「共通事項」の内容が、系統的にバランスよく取り入れられている。 ・3年生以上の巻末に歴史上の音楽家が紹介されている。 ・豊かな情操を育成するために、思いや意図をもって表現したり、演奏したりする活動が充実している。 ・目次では、単元で学習内容がわかりやすく表記してある。また、巻頭ページでは、音、自然、文化を大切に扱っている。 ・選曲が豊かである。 ・「心の歌」として、共通教材が明記され、意識できるようになっている。 ・思考力、判断力を育てる音楽づくりを大切にしている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・スキルアップの内容が、入っている。4年生以上は「スキルアップ」で歌声とリズムのトレーニングを継続的に取り上げられるように工夫されている。 ・基本的な内容(歌い方、楽器の扱い方)については、児童写真が使われており、わかりやすくなっている。 ・鑑賞教材では、何の音を表現しているかが一目で分かるように、楽器の挿絵を示している。 ・「音楽のもと」として、学年の学習内容のまとめが全学年、巻末にまとめられている。 ・3年生では、音符、休符、記号がまとめられ、シートを活用して覚えやすい工夫がしてある。 ・2、3、4年生は、題材ごとに右ページの端に、音符、休符、記号や音楽にかかわる用語を示し、知識として理解できるよう配慮してある。	・音楽科の目標に準じて、「A 表現」「B 鑑賞」及び「共通事項」の内容が、系統的にバランスよく取り入れられている。 ・「ふり返りのページ」では、各学年の1年間の指導内容(学習内容)がまとめてあり、確認することができる。 ・拍とリズムが一緒に書かれていることが多く、図で表す工夫もしてある。 ・低学年では階名唱の活動、中学年では旋律、高学年では曲想に焦点をあて、繰り返し提示し系統的に学習できる工夫がある。 ・歌と楽器を合わせる指導が入っている。 ・旋律とリズムが分けてあり、段階的に学習できる工夫がされている。 ・音楽づくりや歌唱指導等、学年の系統性が整理され、段階的な指導の流れになっている。 ・2年生以上には、「新しく覚えること」として学年の内容が、わかりやすく表示してある。 ・題材ごとに音符、休符、記号や音楽にかかわる用語を示し、知識として理解できるよう配慮をしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・A 表現(歌唱・器楽)の活動において、表現の支えとなる歌い方や演奏の仕方を示し、音楽活動の言葉かけの配慮がされている。(～のように) ・B 鑑賞の活動において、児童自らが曲想を感じ取って、自分の言葉で感じたことを伝え合うことができるようになっている。 ・低学年から、教科書に書きこむページがあり、言語活動の場面の設定がしてある。 ・低、中学年の鑑賞の学習では、音楽に合わせて身体表現をする活動が重視されている。	・一つの題材で、「A 表現」(歌唱・器楽・音楽づくり)の指導事項が盛り込まれている。 ・音楽づくりの活動を取り入れ、[共通事項]と関連させて、児童の感性や創造性を生かした活動の配慮がされている。 ・楽譜に【A】【イ】の記号を示すことで、旋律のまとめりとして捉えやすく、鑑賞の視点から音楽の感じの違いを感じ取りやすいようにしてある。 ・題材から、思考力・判断力・表現力の育成の視点が盛り込まれており、高度な学習活動を扱っている。 1年生で交互唄、2年生で輪唱、3年生でオスティナート唱、4年生で2部合唱、5年生部分3部合唱、6年生で3部合唱と段階的に学習できるよう工夫されている。 ・思いや意図をもって演奏したり、表現したりするや思考力・判断力を育てる音楽づくりの内容が充実している。 ・感じたことが書き込めるように、ワークシート的な取り扱いページが挿入してある。 ・強弱記号が付いていない曲が多く、学習の中で表現の創意工夫が自主的に進められるようになっている。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	学習する上での大切なめあてが児童向けの書き方で示されている。 ・A 表現(歌唱・器楽・音楽づくり)、B鑑賞の活動において、歌い方や演奏の仕方の工夫点として活動のポイントを分かり易く示している。 ・楽曲の挿絵がカラーで分かりやすく工夫されており、イメージしやすくなっている。 ・1～3年生には、プラスチックシートがどの学年にも使われており、興味をもって学習できるよう工夫されている。 ・鑑賞曲の取り扱いでは、楽譜が記載されており、リコーダーでも、演奏できるように工夫されている。	・題材、学習目標、学習活動の手順などを示し、活動の具体的なヒントをキャラクターで示している。 ・歌声を出すための姿勢について書かれている。また写真を添えてイメージしやすいように工夫されている。 ・リコーダーの全ての運指表が、3年生以上共通で掲載されており、児童自らが調べて演奏できるようにしてある。また、記号等については2学年ずつのまとめりで整理されて、掲載されている。 ・楽譜に歌唱や演奏の順序が明記され、児童にわかりやすく表示してある。 ・子どもたちが歌いたいと思える歌がたくさんあり、メッセージ性のある楽曲が多い。 ・音楽の活動や表現の際に、挿絵や写真を参考にしながら、児童が主体的に取り組める工夫がしてある。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・国歌「君が代」の楽曲説明が丁寧に示されている。 ・鑑賞教材における民族音楽、外国の風景や挿絵が豊富である。 ・4年以上で「はってん」という印で、発展内容が表記されている。 ・「音楽づくり」では、5年生でインターロッキング、6年生で循環コードやドローンといった発展的な創作を取り入れ、創作意欲を高める工夫がしてある。 ・鑑賞教材に中学校の鑑賞曲を入れ、中学校との関連を持たせている。	・3年生以上には「音楽ブリズム」のコーナーを設定し、新しく学習していくリコーダーの世界の紹介や音楽的感性性を豊かにしていくための投げかけがされている。 ・3年生以上には、「心がつなぐ歌声」として、年間を通して歌える歌があり、学級経営に活用できるような工夫がある。 ・3年生以上には、ステップアップ「おぼえておくとべんりです」と表記し、発展的内容が示されている。 ・国歌の指導がどの学年にも入っている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(5) 他の教科等との関連	・低学年では生活の中の身近なもの(ペットボトル、貝殻等)を使った音づくりの活動を取り扱っている。(生活科との関連) ・全学年共、音楽ランドに教材「さんぽ」を取り上げ、手話を取り入れている。(福祉教育との関連) ・音楽を表すいろいろな言葉が掲載されていて、言語力育成の視点が盛り込まれている。 ・民族音楽、外国の風景等の挿絵が豊富に掲載されている。(国際理解教育との関連) ・5・6年ともに英語で歌える歌を掲載し外国語活動と関連させている。(外国語活動、国際理解教育との関連)	・言葉や図で表したり、感じたことを書いたり、言葉でリズムアンサンブルをしたりして、言語力育成の視点が充実している。 ・歌詞の内容理解、作者の心情理解などを自分の言葉で説明する等の話し合い活動等が入っており、国語や言語活動との関連がある。 ・低学年では季節の歌やわらべ歌等が、取り上げられている。(生活科との関連) ・鑑賞教材における日本音楽が充実している。 ・外国の音楽として外国の遊び歌等も取り上げられている。(国際理解教育との関連) ・日本の民謡や外国の音楽を取り上げる際、都道府県や国の位置が分かるよう地図が掲載されている。(社会科との関連) ・裏表紙に全学年、日本各地の祭りと楽器の写真が掲載されている。(生活科、社会科との関連) ・道徳、人権に関連した楽曲(ともだち等)が、挿入してある。
	(1) 表記・表現の工夫	・鍵盤ハーモニカで演奏するページは実物大の写真と指番号、手の置き方を示した写真がセットになっている。 ・活動のポイントの文章表記が、話し言葉になっている。(～かな。～ね。～よ。～よう。等) ・教材や楽曲のイメージがし易いように、場面ごとに挿絵を工夫したり、音楽家のメッセージを掲載したり、演奏の様子を掲載したりしている。 ・どのページも、色鮮やかで目を引くよう工夫され、楽しいページとなっている。 ・写真が豊富で、大きく見やすく掲載され、曲を聞きながらイメージしやすい工夫がされている。	・指導事項が整理され、シンプルな構成となっている。 ・視覚的に落ち着いた紙面構成となっていて、基本の指導事項がわかりやすく明確である。 ・全学年共に、写真や挿絵の色調が柔らかく、全体的に温かさを感じさせる仕様になっている。そのため、曲に対するイメージが膨らみやすい工夫がしてある。 ・活動のポイントの文章表記が丁寧で、文末が「～しましょう。」と活動を促す表現になっている。 ・全学年を通して、同じキャラクターが使われ、吹き出して学習のポイントが表示しており、親しみやすさがある。 ・全学年とも、全て同じサイズのページ構成になり、織り込みページがないため、見やすく取扱いやすい。 ・創意工夫を高めるための視点があり、豊かな情操を養うことにつながる工夫がされている。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	図画工作	種類	2種
--------	------	----	----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 9 開隆堂	発行者名(番号・略称) 116 日文
		教科書の記号・番号 図工 131,132,331,332,531,532	教科書の記号・番号 図工 133,134,333,334,533,534
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	作品例、活動中の児童の写真、マークやコーナーを使い、学習内容が視覚的にも分かりやすいような工夫をしている。 用具や材料を分かりやすく一覧に示したり、育てたい力も3つに分類しマークで示したりするなど工夫をしている。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容を、バランスよく配分している。	全体的に明るい色調で、児童が生き生きとした表情で楽しそうに活動している場面を多く掲載するなど、学習に対する意欲が高まる工夫をしている。 題材毎に学習のめあてを掲載するなど、目標を達成するための学習のポイントを視覚的にも分かりやすいように工夫をしている。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容をバランスよく配分している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	「図画工作で大切にしたいこと」を発想・構想する力、創造的な技能、コミュニケーション力に分類し、題材毎の目標とともにマークで分かりやすく示している。 「パレットコーナー」を設定して、創造的な技能が身に付くよう工夫をしている。 安全面について配慮が必要な用具などは、コーナーで分かりやすく示している。	題材毎に、学習のめあてとともに活動の導入となる呼びかけ文を示している。 題材で付けたい力等を、目次やページの左上端にマークで示すことで、学習で大切にすることが分かりやすい上、必ず達成したい項目についてはアンダーラインを引くなどの工夫をしている。 材料や用具の扱いなど基礎的な表現技法について巻末で取り上げ、創造的な技能が身に付くような工夫をしている。 安全面について配慮が必要な用具などは、「きをつけよう」のコーナーを設け説明している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	多くの作品例を示し、視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、表現力を引き出せる工夫をしている。	児童の発想や構想を助けるような言葉がけを、カラーの枠の吹き出しなどを利用して掲載している。 画材、道具の違いによる表現の異なりについて触れ、表現方法が広がる工夫をしている。 「ぞうけいのもり」では、発達段階に応じ身近なことから広い世界へ目を向けさせ、思考が広がる工夫をしている。 日本古来の文化にも触れ、創造力が広がるような工夫をしている。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	題材毎に学習のめあてを示し、活動内容が捉えやすいよう工夫をしている。 児童が言語活動を通して活動の振り返りができる視点を表記している。 「ひらめきコーナー」では、身近な教材を使って、遊びにつながる造形活動を取り上げている。	身のまわりにある材料を使い、主体的に学習に取り組めるような工夫をしている。 学習の進め方や活動のヒントを、キャラクターの吹き出しによって示している。 掲載している児童の表情が楽しそうで、やってみたいという意欲の喚起につながっている。 活動途中の様子と出来上がった作品を掲載することで、発想や学習の広がりにつながる工夫をしている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	巻頭及び巻末に、発展的な内容及び今日的な課題に関連したページを設けている。	5・6 年下巻に「中学校へ、向かって」というページを設け、小中の繋がりを示している。
	(5) 他の教科等との関連	「みんなのギャラリー」では、地域とのつながりに関連した内容を掲載している。 他教科との関連を意識した題材の設定を工夫している。 道徳の内容項目と関連付けた題材を取り入れている。	各巻に「図画工作の広がり」というページを設け、地域や世界との繋がり、キャリア教育に活用できる内容を掲載している。 他教科や、国際理解、環境教育、情報教育、特別支援教育等の領域との関連を意識した題材を設定している。 道徳の内容項目と関連付けた題材を取り入れ、特に関連が深い題材については、ページ右下に小鳥のマークを付けるなどの工夫をしている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	題材名、活動内容と関連付けたデザインで表記している。 目次の折り込みを開き題材のページと合わせて見ることにより、材料や用具、他の題材との関連などを同時に見るができる工夫をしている。	活動内容や学習のめあて・学習のヒント・材料や用具を、マークや色分けにより表記するなど、分かりやすい工夫をしている。 児童の意欲と想像力が高まるように、タイトル名にも工夫をしている。 一つの題材に対して、見開き 2 ページでまとめている。

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	家庭	種類	2 種
--------	----	----	-----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 2 東書 教科書の記号・番号 家庭 531	発行者名(番号・略称) 9 開隆堂 教科書の記号・番号 家庭 532
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・問題解決的に学習が進められるよう、全ての単元が「見つめよう」「計画しよう・活動しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の学び方の3つのステップで構成されている。 ・巻頭に2年間の学習の見通しが明示してある。 ・巻末に「いつも確かめよう」point が写真イラストと共に簡潔に示されている ・巻頭に「成長の記録」一覧があり、1年もしくは2年を通しての自分の成長が確かめられるように工夫されている。 ・社会のグローバル化に対応し、外国人の写真も使用されている。 ・「日本の伝統」コーナーがあり、日本の文化の継承・創造等に関する情報に触れられている。 ・写真・挿絵が大きく、色も落ち着いた色が使われている。特別に支援を要する児童への配慮を感じる。	・1・2Pでは、2年間の家庭科での学びを通して、付ける力を見通すことができる。また、中学生までも見通す構成になっている。学びの連続性を意識できる。 ・各学年末には、出来るようになった自分を振り返り、次学年の学習への意欲に繋がるような構成になっている。 ・題材ごとに学習内容を示す(調べよう・やってみよう・話し合ってみよう) ・巻末用語一覧があり、調べ学習に対応し得る。 ・巻末「成長した私たち」は、目次を参考にしながらこれまでの学習を振り返るようになっており、記述式になっている。 ・「チャレンジ」コーナーがあり、学習したことを生活の中で実践できるように工夫されている。 ・各単元の最後に「ふり返ろう・生かそう」のコーナー、ミシンや調理等の活動のページには「出来たかな」のコーナーがあり、学習を振り返られるように工夫されている ・「家族や家庭についての学習」「食生活についての学習」「衣生活・住生活についての学習」「消費・環境についての学習」の4分野のどの学習に関する内容かわかるように、ページ端に色が付けられている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・「これだけではできるようになろう」とチェックができるので、基礎基本の内容が身に付いたかどうか振り返ることができる。 ・用具や機械の部分の名称が分かりやすい。(P34)・・・ミシンでは、「各部の名前」で全ての部分の名称を示し、「ミシンの使い方」で、再度必要な部分の名称を上げて説明している。 ・「いつもたしかめよう」で、家庭科の基礎的な技能が確実に身に付けられるようにしてある。また、目次に「いつも確かめよう」の一覧とページを上げていつも確かめられるようにしてある。巻末には、写真入りで拡大版をのせて、基礎・基本の定着が図れるようにしてある。	・単元のはじめには、ねらいを「学習のめあて」で示し、単元の終わりには「振り返ろう・生かそう」で付けた力をねらいの項目に添って振り返るようにしている。 ・実習に於いては、「できたかな」で学びや活動を振り返り、付けた力を確かめられるようにしてある。 ・ミシンの代表的な部分の名称はP35で示し、「ミシンの使い方」で細かな部分の名称を説明している。 ・用語の説明や索引が巻末にあり、自分で確かめたり調べたりするときに役立つ。 ・用語の解説やまめ知識として、欄外に「一口メモ」が多くのページで紹介されている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・「1 見つめよう」では、文末表現が、「～してみよう」「どれですか」「～でしょうか」と問いかけているものが多く、児童が主体的に学び、考えるような表現になっている。 ・「成長の記録」を活用し、学習の振り返りができる。 ・「DO」活動では、調査や観察、話し合いなどにより主体的に学習をすると共に、問題解決的な学習を促している。 ・玉結びの方法では、陥りやすい失敗例を上げ、その原因を考えさせるような吹き出しがあるので、よりよい作業の仕方について考えることができる ・自由研究や課題を投げかけるコメントがある。	・「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」で、課題を提示し、主体的に考え、判断したりできるように問いかけや呼びかけをおこなっている。思考手順が分かり易い。自分の意見を表現させようとしている。 ・活動場面が多く設定されており、話し合いや発表する学習を進めやすい。 ・ワークシートの書き方を掲載しており、学習の筋道が分かりやすく、イメージがもちやすい。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・長期休業前には「自由研究」でテーマを与えている。「研究のまとめ方」として、「研究のきっかけ」「方法・結果」「新しい課題」を示している。 ・「家庭科の基礎技能 いつも確かめよう」の目次が付いているので、家庭で実践中、困った時に見直ししやすいようになっている。 ・「学習のめあて」「振り返ろう」が全ての単元にあり、何を目指して学習するのか分かりやすい。また、それが身についてか確認できる。 ・ミシンの説明が分かりやすく、一人でも順に作業を進めることができる。 ・「自由研究」の事例があり、児童の興味関心を高めることができる。 ・裁縫で、ポイントをイラストを使って表記し、児童が難しいと感じる所を丁寧に押さえている。また、リンクのページに別の方法やよくあるパターンについてどうすればよいのか提示してある。 ・身の回りのことで、具体的な調べ方を提示している(よごれ調べなど)	・長期休業前に、「家庭で実せんしょう チャレンジコーナー」で例を示し、これまでの学びを生かして家庭での実践につなげるようにしている。 ・「達人に聞きました」を紹介し、実践だけでなく、キャリア教育と結びつけてチャレンジできるようになっている。 ・「発展」として、みそ料理と雑煮、目玉焼き、野菜の煮物を紹介している。 ・調理実習が写真入りで説明しており、参考にしやすい ・「やってみよう」「調べよう」があり、学習したことを家庭でも自主的に取り組めるようにしている。 ・2年間を見通した流れを見開きのページで表現し、めあてを持たせている。 ・「参考」で発展内容への意欲付けを行っている。 ・裏表紙に野菜の切り方を載せている。常に目にすることで、知識理解を定着を図ると共に、活用しやすい。 ・「学習のめあて」を提示し、何について学習すべきかわかりやすく表現している。 ・写真を多く用いて作品例が紹介されていて、家庭でも取り組める活動となっており、児童の興味関心に繋がる。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・「日本伝統料理」を紹介し、日本の伝統文化について学ばせようとしている。 ・「プロに聞く」では、専門的・具体的アドバイスを受け、キャリア教育にも繋がっている。 ・「防災教育」があり、災害に備える内容のコーナーがある。 ・単元内容と「日本の伝統」を結びつけるシーンが設定されており、郷土愛や愛国心に繋がる。	・3Pに「安全」と「防災」を示して、家庭科の学習を始めるに当たって、大切な点を押さえている。 ・「日本の伝統食を調べるコーナー」がある。みそ料理と雑煮を調べる(5年)、「おせち料理のいわれを調べる」(6年)など、昔から伝わるものに興味を持たせるようにしている。 ・キャリア教育に繋がるように、実在の人物が登場して話を聞かせている(P87) ・「防災」では、災害の持ち出し用品(P33)、災害時に備えた実践例 (P65)がある ・一口メモに昔から大切にされてきた知恵袋的な内容が記載され、生活に生かすことができる。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(5) 他の教科等との関連	・「関連」として、他教科との関連を示している。理科・社会・保健の他、中学校技術家庭との関連も示されている。 ・家族との協力・協働について考える内容や日本の伝統食・各地域の伝統食についての内容が多く紹介されており、道徳科との関連が見られる。	・「関連」として、他教科(算数・理科・社会・体育)の学習との関連が記されている。 ・日本の伝統食・各地域の伝統食についての内容が多く紹介されており、道徳科との関連が見られる。
	(1) 表記・表現の工夫	・1ページに余白をもたせ、ゆったりとしている。絵が大きく書かれている。(P70.80.107) ・イラストが多様されている。 ・書き込み部分が多い。教科書がワークシートのような活用ができ、考えや思いを書き込むことができる。 ・紙質がプリントに近く、鉛筆・消しゴムの作業に対応できる。 ・学習見通しの視覚支援(調理計画カードのサンプル、パンフレットサンプル)を手書きで示す。 ・4人のイラストキャラクターが、教科書全体を通して手引きやコメントを発している。一人一人に名前が付いており親しみやすい ※P32 煮干しの頭とはらわたを手で取り除き、3つか4つにちぎる ※P55「ミシンにトライ」靴を脱いでコントローラーを踏む絵 ※5年「ミシンにトライ」でエプロン製作。6年「思いを形に」できんちゃく(さくらさんの工夫としてナップザック)	・1ページの情報量が多い。 ・写真や図等が多い。 ・書き込みできる部分が少ない。 ・紙質は写真が生える光沢紙で、鮮明な印象がある。 ・学習見通しの視覚支援(感謝カード、製作計画表、学校の汚れウォッチングなど)を手書きでなく文字データ等を用いて示している。 ・キャラクターは一体で、教科書全体を通してヒントや注意を与えている。 ・手順・方法等を見開きで、手順がカラーの帯で示してあるため、見やすく捉えやすい。 ・本文の文字が太字になっている。 ※p48 なべに頭とはらわたを取った煮干しを入れておく ※p34「わくわくミシン」靴を履いてコントローラーを踏んでいる写真 ※6年「わくわくソーイング」再作例にナップザック

教科用図書調査研究報告書

教科・種目名	体育(保健)	種類	5種
--------	--------	----	----

(1)枚中(1)枚

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略称) 2 東書	発行者名(番号・略称) 4 大日本	発行者名(番号・略称) 207 文教社	発行者名(番号・略称) 208 光文	発行者名(番号・略称) 224 学研
		教科書の記号・番号 331, 531	教科書の記号・番号 332, 532	教科書の記号・番号 333, 533	教科書の記号・番号 334, 534	教科書の記号・番号 335, 535
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	・3・4年(29 P)5・6年(50 P) ・学習指導要領に示されている目標に基づき、内容及び内容の取扱い事項が適切に取り上げられている。 ・キャラクターや写真をバランスよく取り入れ、学習の展開やポイントを押さえる展開となっている。	・3・4年(29 P)5・6年(49 P) ・学習指導要領に示されている目標に基づき、内容が適切に取り上げられている。 ・学習活動は、「つかむ」の欄により、児童にとって身近で取り組みやすいものを取り上げている。	・3・4年(25 P)5・6年(45 P) ・学習指導要領に示されている目標に基づき、内容が適切に取り上げられている。 ・各章ごとに課題を明記し、学習内容の理解と定着が図れるように工夫してある。	・3・4年(29 P)5・6年(49 P) ・学習指導要領に示されている目標に基づき、内容が適切に取り上げられている。 ・キーとなる言葉を受けてコーナーを設定して、分かりやすく理解できるように工夫してある。	・3・4年(33 P)5・6年(53 P) ・学習指導要領に示されている目標に基づき、内容が適切に取り上げられている。 ・学習内容の説明が丁寧に書かれており、学習の見通しが持てるように工夫されている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	・各章末の「学習をふり返ろう」で学習事項を自己チェックすることにより、学習内容を整理できるように配慮されている。 ・イラストやキャラクターの吹き出しを効果的に使い、見開き1ページでまとめてあることで、ひと目で分かりやすく構成してある。	・生活の時間的経過を意識した構成となっており、事前と事後の変化が捉えやすいように工夫されている。 ・キャラクターが学習のまとめや考え方を支援しやすいよう、ポイントで登場している。 ・写真よりもイラストや図形を用いて視覚的に理解しやすいようにしている。	・「つぶやきくん」で、ちょっとした豆知識や学習者へのメッセージの形で、基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫がされている。 ・学習過程が工夫されており、興味・関心を持って、意欲的に学べる構成となっている。	・「習得コーナー」を設定し、基礎的・基本的な知識及び技能が定着するように工夫されている。 ・イラストや図表、写真が多く使われており、児童が理解しやすいページ構成になっている。	・学習を進めるキャラクターが親しみやすく興味を引く写真やイラストがふんだんに使っており、児童が興味・関心を持って学習に向かえるよう配慮されている。 ・1時間の学習過程を統一している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	・紙面の基本的な構造が、タイトル→学習課題→学習方法の確認→資料・図板→知識の活用→整理となっており、課題解決的に学習を進めることができるように工夫されている。 ・「話してみよう」「活用して深めよう」で言語・コミュニケーション能力が育成できるよう配慮してある。	・活用欄を設け、新たな知識を習得させる他、自分の生活や健康上の改善について考えることができるよう配慮している。	・学習の振り返りで、自分の生活を振り返って考えさせることができるようマークや記述ができるよう工夫している。	・「みつけよう」「つたえよう」の欄から習得した知識などを活用し、思考・判断・表現の育成が図れる工夫がしてある。	・「話し合ってみよう」「かつよう」で学習内容に係わって、児童の考えを書いて発表する等、思考力・判断力・表現力の育成に工夫がされている。 ・活用欄を設け、新たな知識を習得させる他、自分の生活や健康上の改善について考えることができるよう配慮している。
	(3) 児童が自主的に学習に取り組むことができる配慮	・自らの生活と照らし合わせて学級で話し合ったり、資料を基に考えたり、自分の生活をふり返ったりするなど、児童が主体的に学習に取り組める活動で構成してある。 ・やってみようコーナーなど、自主的に課題解決に臨もうとする工夫がある。	・児童の生活に身近な学習内容が示されていて、生活をイメージしながら学習を進めていけるように配慮してある。 ・各章のはじめに「保健ゲーム」というコーナーを設けて、楽しく主体的に取り組めるようになっている。	・「つぶやき」で学習に関連したホームページを紹介するなど、自主的な学習への配慮がされている。 ・「やってみよう」というコーナーを設けて、自主的に取り組めるように構成されている。	・「あてはめよう」の欄で、学んだことを色々な場面に当てはめて、取り組みやすい工夫がされている。	・学習内容に係わって、科学的な資料やくわしい説明や関連する情報、また参考となるウェブサイトの紹介や情報の活用のコーナーがたくさん準備されていて、自主的に学習を進めることができる配慮がされている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	・個々の児童の興味・関心に応じて学習を深めることができるよう、「新しい生命」「すいみんと発育」(3・4年)、「熱中症の予防と手当」「たばこの主な有害物質」(5・6年)などが取り扱ってある。 ・防災教育を取り入れている。	・学習内容に関わって、「しりょう」「もっと知りたい」で、学習内容を深めたり、広げたりできるよう配慮されている。 ・「受け継がれていく命」「大切な命 絆」等、「命」についての発展学習が挙げられている。 ・防災教育を取り入れている。	・「情報コーナー」「発展」でより詳しい学習内容や発展的な学習内容が提示してある。	・発展的及び今日的課題として、「ストレス、ネットトラブル」「地震・津波対策」「新型インフルエンザ、熱中症」など身近な内容にふれられている。 ・防災教育を取り入れている。	・「学習内容ではないが興味のある人は取り組んでみましょう」、各章末には「もっと知りたい、調べたい」という発展的な内容が提示してある。 ・防災教育を取り入れている。
	(5) 他の教科等との関連	・「つなげよう」では他教科の学習内容の関連及び、運動に関する内容を随所に取り上げて運動領域との関連が図られている。 ・他人とのかかわりや自他の生命を尊重することなど、道徳との関連が図られている。 ・理科・社会・体育・道徳と関連して記述している。	・「リンク」で関連する教科との関連を示し、学習を広げる工夫がされている。しかし、少し分かりにくい。 ・理科・社会・体育・道徳と関連して記述している。	・他教科との関連が明示されているとよい。	・理科・社会・体育・道徳と関連して記述している。	・理科・社会・体育・道徳と関連して記述している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	・さし絵は児童にとって親しみやすく、色使いが統一されている。 ・科学的な理解を促す写真・資料が豊富である。	・ページの多くに絵が示されており、3・4年にはよいが、5・6年生には写真の方が興味・関心、好奇心が期待できる。 ・シールをはがして貼ることができるよう工夫している。	・文中の大切な語句は太字ゴシック体で書かれているなど工夫が見られる。 ・紙面が大きく文字や絵・写真等がゆとりをもって配列してあり見やすい。	・大切な言葉や文は、太く濃く表示され見やすい。写真やイラストによって児童が理解しやすい工夫がされている。	・写真(絵)、図、グラフ等が適切に使われており、見やすく構成されている。